

会長のページ	マスク	河野 雅行	3
日州医談	新型コロナワクチン定期接種について	吉田 建世	4
随 筆	コスモス巡り	石橋 俊秀	6
特 集	宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業		
	第11回 開講50周年記念式典・演奏会/記念祝賀会	東 美菜子	8
エコー・リレー (591)		岩谷 健志, 松村 研吾	11
メディアの目	災害報道への対応と備え	寺田 健吾	12
身近なお困りごと相談室		高山 桂	13
宮崎大学医学部だより	感染症学講座－寄生虫学分野－	丸山 治彦	20
専門分科医会だより	精神科医会	吉田 建世	21
診療メモ	子ども虐待について	内村 絵美	62
宮大医学部学生のページ	宮崎大学学園祭第20回清花祭	小迫 勇太	64

あなたできますか？(令和5年度医師国家試験問題より)	10
宮崎県感染症発生動向	14
各郡市医師会だより(南那珂医師会, 西諸医師会)	16
各種委員会(医学会誌編集委員会)	22
各種委員会(健康教育委員会)	23
各種委員会(健康スポーツ医学委員会)	24
九州医師会連合会第417回常任委員会	26
ベストセラー	27
全国医師会医療秘書学院連絡協議会第74回定例総会・令和6年度第1回運営委員会	28
日医インターネットニュースから	30
医師協同組合だより	32
会員の異動・変更報告	34
理事会日誌	36
県医の動き	40
ドクターバンク情報	41
行事予定	47
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	49
あ と が き	72

お知らせ	カット・イラストの募集	7
	「新春随想」原稿募集	25
	令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	29
	“8月に本県を襲った地震および台風”に関する原稿募集	33
	日州医事へのご意見・ご感想	45
	郡市医師会への送付文書	66
	医療勤務環境改善支援センター	70
	日州医事原稿募集のお知らせ	71

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

波 紋

新富町の入江に台風で流木が流れ着いていました。この日、カワセミ（左上）が留まっていたので、堤防の上から観察していると、ダイサギが近づいて来ました。そのとき、向こうをボートが通り過ぎ波紋の縞々模様が迫ってくるのに気付き、タイミングを測って撮った一枚です。この写真は二科展に入選し、国立新美術館に展示されました。

国富町 はら原 まさ政 き樹

会長のページ

マスク

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

5類移行で一時期は少なくなっていたマスク姿がコロナ再燃で再び増えてきました。コロナ最盛期にはマスク着用は個人の自由なのか公衆衛生の面から必須なのかの論議もあり、公共の場や交通機関ではマスク非着用者は忌避されトラブルになった事件もありました。流行当初は国中で一斉にマスク購入に走り店頭から消えてパニックとなり、残った物は1枚が数百円もしたそうです。それでも入手困難で、海外からさまざまなルートで大量購入して高値で転売する不心得者もいました。半世紀前のオイルショック時と同様の社会混乱がありました。国も緊急事態の対応として国民にマスクを配布しましたが、莫大な費用をつぎ込んだにしては粗悪品で評判が悪く、あまり使用されなかったようです。結局、勿体なくも大量に廃棄されたそうです。マスクではウイルスは防げず無駄との意見や、感染を拡大させないためには有効等々の意見まで、有識者？の解説付きで頻繁にマスコミが伝えていました。著明な感染症専門家の講演によれば、「今後も新興再興感染症は起こり得る。パンデミック感染症は飛沫感染やエアロゾル感染による呼吸器系感染症が最も考えられる。したがって完全ではなくともマスクは効果がある」との話でした。

マスクの歴史を見ると、中世のヨーロッパで人口が半減するようなペストが流行した際に医療関係者が使用した記録があるそうです。それも現在の形ではなく、仮面に似たものでした。当時は疾病の実態が判らずに、多分に呪術的な要素が大きかったようです。我が国では100年前のスペイン風邪流行の際に一気に普及したとの記録があります。その記憶が遺っている人たちがいた昭和のころ、冬場はマスク使用者が多く見られ、子どもたちも強制的にマスク使用とうがい・手洗いをさせられた記憶があります。

今回のマスク流行時にはさまざまな素材・色・形やファッション性を取り入れたもの、コミュニケーションのために口元の見える奇異なタイプも発売され、価格もピンからキリまでありました。マスクの功罪についてもさまざまな意見があります。利点としては感染予防を第一として、日焼け予防、マスク美人、有名人にはマスクとサングラス・帽子は必需品です。欠点としては 息苦しい、コミュニケーション欠落、費用などが挙げられます。

今回のマスク流行時にはさまざまな素材・色・形やファッション性を取り入れたもの、コミュニケーションのために口元の見える奇異なタイプも発売され、価格もピンからキリまでありました。マスクの功罪についてもさまざまな意見があります。利点としては感染予防を第一として、日焼け予防、マスク美人、有名人にはマスクとサングラス・帽子は必需品です。欠点としては 息苦しい、コミュニケーション欠落、費用などが挙げられます。

コロナやインフルエンザも再燃を繰り返していますし、非装着にこだわっている人たちもいますが、今後しばらくは着用が普通のこととして定着するものと思われます。私たちがその社会現象を受け入れなければならないようです。

(令和6年10月22日)

日州医談



新型コロナウイルスワクチン定期接種について

宮崎県医師会 常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類相当に変更され1年半が過ぎるが、いまだ入院医療機関や介護施設での集団感染がみられ、高齢者を診ている医師にとってはまだまだ気が抜けない状態が続いている。特にこの冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時感染も危惧されている。そのような中、国は令和6年10月から「新型コロナウイルスワクチン定期接種」を開始した。厚生労働省は「ワクチンは重症化予防効果が確認されており、安全性についても重大な懸念は認められない」として、ワクチン接種を推奨している。

1 対象者

(1) 65歳以上の者

(2) 60歳以上65歳未満であって、心臓、腎臓

または呼吸器の機能に自己の身の日常生
活活動が極度に制限される程度の障害を有
する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免
疫の機能に日常の生活がほとんど不可能な
程度の障害を有する者

2 期間および助成

接種期間は、国として令和6年10月1日
～令和7年3月31日まで、原則1回接種で
(今回初回接種の方は、2回目は自費)、接
種費用15,300円のうち8,300円を国が助成する。

さらに、県内の各市町村が助成を決定して

おり、実質の患者負担は2,000円～3,500円
(木城町のみ無料)になる。ただし各市町村
の助成する期間が、令和6年12月、令和7
年1月、2月、3月までと各々異なってお
り、その期間内に接種することが求められる
ため、注意が必要である(表)。

表. 令和6年度新型コロナウイルス予防接種
被接種者自己負担額・実施期間

市町村名	被接種者 自己負担額	実施期間
宮崎市	3,000円	令和6年10月1日～令和7年3月31日
都城市	2,000円	令和6年10月1日～令和7年2月28日
延岡市	2,000円	令和6年10月1日～令和7年2月28日
日南市	2,000円	令和6年10月1日～令和7年1月31日
小林市	3,000円	令和6年10月1日～令和6年12月31日
日向市	2,000円	令和6年10月1日～令和7年2月28日
串間市	2,000円	令和6年10月1日～令和7年1月31日
西都市	2,000円	令和6年10月1日～令和7年1月31日
えびの市	3,000円	令和6年10月1日～令和6年12月31日
三股町	2,000円	令和6年10月1日～令和7年2月28日
高原町	3,000円	令和6年10月1日～令和6年12月31日
国富町	3,000円	令和6年10月1日～令和7年3月31日
綾町	3,000円	令和6年10月1日～令和7年3月31日
高鍋町	2,500円	令和6年10月15日～令和7年3月31日
新富町	2,500円	令和6年10月15日～令和7年3月31日
西米良村	2,000円	令和6年10月1日～令和7年1月31日
木城町	0円	令和6年10月15日～令和7年3月31日
川南町	2,000円	令和6年10月15日～令和7年3月31日
都農町	2,000円	令和6年10月15日～令和7年3月31日
門川町	2,000円	令和6年10月1日～令和7年2月28日
諸塚村	2,000円	令和6年10月1日～令和7年2月28日
椎葉村	3,000円	令和6年10月1日～令和7年2月28日
美郷町	2,000円	令和6年10月1日～令和7年2月28日
高千穂町	3,500円	令和6年10月1日～令和7年3月31日
日之影町	3,500円	令和6年10月1日～令和7年3月31日
五ヶ瀬町	3,500円	令和6年10月1日～令和7年3月31日

3 ワクチン接種の広域化

今回、この新型コロナワクチン定期接種も宮崎県内での「広域予防接種」の対象となり、県内に住民票がある者で、自分の住民票がある市町村以外においても接種を希望する者は受けることができるようになった。（ただし、郡市医師会単位による準広域化の対象者を除く）

4 ワクチン同時接種

新型コロナウイルスワクチンについては、以前はインフルエンザワクチンのみ同時接種が可能であったが、今回は海外と同様にすべてのワクチンと同時接種が可能となっている。

5 対象ワクチン

いずれのワクチンもオミクロン株の「JN・1系統およびその下位系統」に対応しており、国立感染症研究所は、現在主流の「KP・3」に対しても従来のワクチンより効果が期待されるとしている。各会社別の表示特徴は以下のとおり。

① ファイザー（コミナティ筋注シリンジ12歳以上）
対象：12歳以上。1シリンジ、1人。8か月有効。

② モデルナ（スパイクバックス筋注）
対象：生後6か月以上。1V、5人分。12か月有効。

③ 第一三共（ダイチロナ筋注）
対象：12歳以上。1V、2人分。7か月有効。

④ MeijiSeika（コスタイベ筋注用）
対象：18歳以上。1V、16人分。溶解要。18か月有効。

⑤ 武田（ヌバキソビット筋注1mL）
対象：初回免疫6歳以上、追加免疫12歳以上。1V、2人分。9か月有効。

6 副反応疑いの報告

令和6年8月の一部改正で副反応を疑う症状が遅延している者がみられることより、けいれんや血管炎、脳炎などの指定された症状以外にも遅発性の症状または遅延する症状があれば、報告を検討するように示されている。

7 県民への副反応などの相談窓口

県は10月1日より新型コロナウイルスワクチン定期接種に合わせ、副反応などに関する専門的な相談窓口「県新型コロナワクチン副反応相談センター」を設置した。期間は令和7年1月31日までとなる。相談は、土日祝日や年末年始を含む午前9時～午後5時の電話での受付になる。相談には看護師が対応する。FAXでは24時間受け付けるが、回答は翌日になることもあるという。

8 その他

小児については、これまで接種率が他の年代に比べ10～15%と低調であったが、ブレインフォグなどの感染症後遺症や小児の重症例も報告されており、日本小児科学会は生後6か月～17歳のすべての小児に新型コロナワクチンの接種を推奨している。

結びに、今回国および市町村が助成し、高齢者の定期接種が開始されたことは大変歓迎されることである。しかし対象以外の人は任意接種となり、価格面が大きな問題となる。今後、小児や対象年齢以外の基礎疾患がある人、また医療従事者、介護職員などを対象とする助成があればより大きな感染予防策になると考えられ、そのような対策を望むところである。

随 筆

コスモス巡り

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで
石 橋 俊 秀

指宿のコスモス畑

令和5年8月26日(土)に鹿児島県指宿市の池田湖に寄って「開聞岳」と「イッシー像」を眺めた。その周辺では黄色とオレンジ色のコスモスがすでに満開だった。

三光コスモス園

10月8日(日)に大分県中津市の三光コスモス園に行った。数日前のテレビでは2,800万本のコスモスが満開と放送されていた。昔は5,000万本とも言われていた。実際に行ってみると、真っ白のコスモスの区画と定番のピンク、深紅や薄黄色などのコスモスに出迎えられた。真っ黄色や橙色のコスモスが珍しかった(写真1)。コスモスと一緒にヒマワリも咲いていた。段々畑の上まで辿り着いてもう最後かと思ったら、まだコスモス畑が延々と続いていた。



写真1 三光コスモス園

麒麟花園

同日、福岡県朝倉市の麒麟ビール福岡工場の敷地にある麒麟花園にも行った。

1,000万本のコスモスが咲くと言われているが、まだ5～7分咲きだった。定番のピンク、白と深紅がほとんどだった。1～2本黄色のコスモスが混じっていた。

グリーンパークえびの

10月9日(月・祝)に宮崎県えびの市のココロえびの工場の敷地内にあるコスモス畑に行った。春は菜の花、夏はヒマワリ、そして秋にはコスモスが花を咲かせてくれる。300万本と言われている。所々にヒマワリが咲いていた。雨上がりのため、見物客は少なかった。

生駒高原

同日の午後、生駒高原に着いたころは小雨にも関わらず見物客は多かった。コスモスは100万本と言われている。スイーツ祭りが開催されていた。コスモスの花びらでハート型のオブジェが作られていて、大人気だった(写真2)。鉢植えのコスモスの花が販売されていたので買って帰り、受付に置いてもらった。



写真2 生駒高原のコスモスリング

道の駅旭志

10月14日(土)に訪れた。ここは熊本県菊池市にあり、道の駅周辺にヒマワリとコスモスが同時に咲くように考えて種まきの時期をずらされている。コスモスは満開だったが、ヒマワリの開花はまだまだの状態だった。

塚崎古墳群

鹿児島県南大隅町の「雄川の滝」を見物した帰りに鹿児島県肝付町の塚崎古墳近くでコスモスとヒマワリのコラボを発見した。

西都原古墳群

宮崎県西都原市の西都原古墳群を10月29日(日)に訪れたら、300万本と言われている色とりどりのコスモスが満開だった。古墳との対比が絶妙だった(写真3)。コスモスの色はピンクが一番多く、次いで薄ピンクや深紅と続き、所々に白が混ざっていてとても綺麗だった。



写真3 西都原古墳群のコスモス

しまばら火張山花公園

11月3日(金・祝)にここを訪れた。例年1,000万本のコスモスが栽培されているが、天候不順のため令和5年は2～3割減の状態だった。それでも結構見所があった。また、少し離れた場所には6万本ものヒマワリが咲き誇っていた。

志布志コスモスロード

ここは鹿児島県志布志市にある。10月28日(土)に訪れたが、今年はまだ蕾の所がほとんどだった。11月11日(土)に再訪したときには1,000万本と言われているコスモスが満開だった。駐車場とトイレが設置してあったが、見物客はまばらだった。道路の反対側に咲くソバの白い花と対照的だった。日南市の道の駅酒谷周辺では「高嶺ルビー」というピンクのソバの花が咲くそう。

宮崎市清武町のコスモスとヒマワリ

11月11日(土)、宮崎市の地鶏牧場石坂村で「地鶏のはごろも」を買って、宮崎山形屋の九州物産館に行く途中でコスモスとヒマワリのコラボをたまたま発見した。後で宮崎日日新聞を見ると「ヒマワリ 60万本見頃」と紹介されていた。

お知らせ

カット、イラストの募集

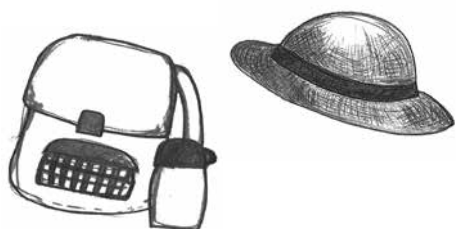
日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101
genko@miyazaki.med.or.jp



特 集

宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業



開講 50 周年



第11回 開講50周年記念式典・演奏会/記念祝賀会

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 あずま 東みなこ 美菜子

2024年10月13日(日)、シーガイアコンベンションホールにおいて「宮崎医科大学・宮崎大学医学部開講50周年記念式典・演奏会/記念祝賀会」が開催されました。宮崎医科大学・宮崎大学医学部の卒業生や関係者、海外協定校の方々など、国内外から約300名が参加しました。

記念式典・演奏会では、菱川善隆50周年記念事業実行委員会委員長の挨拶に引き続き、バイオリニスト徳永二男氏のリサイタルが行われ、バイオリンの美しく荘厳な音色がホール全体に響き渡り、参加者はその素晴らしい音色に酔いしました。演奏の合間には、渡邊望教授とのトークセッションがあり、宮崎国際音楽祭にまつわるエピソードやストラディバリウスの説明など、なかなか聞くことのできない貴重なお話を存分にいただきました。

続いて、澤口朗教授によるスライドショーでは、医学部50周年のあゆみが多くの写真を交えて紹介され、時代とともに変化する医学部や附属病院の様子、時代を超えて受け継がれる教育への情熱など、現代の宮崎大学医学部へつなが

る軌跡が示され、参加者の心に強く響きました。

鮫島浩宮崎大学長の式辞では、これまで宮崎大学医学部が担ってきた役割への深い感謝とともに、今後の医学の発展と地域医療の充実への思いが述べられました。竹本浩伸文部科学省高等教育局医学教育課長補佐、河野俊嗣宮崎県知事、清山知憲宮崎市長からも宮崎大学医学部が果たしてきた地域医療への貢献が称えられ、温かい祝辞が送られました。

在学生代表挨拶では、医学科6年生の平井文さんが、次の50年に向けて歩み始めた宮崎大学医学部の輝かしい未来への思いを力強く述べました。

記念式典後の祝賀会では、菅沼龍夫元学長、池ノ上克前学長、丸山眞杉同窓会長、南嶋洋一名誉教授による懐かしいエピソードが披露されました。また、学生による迫力あるすずかけ太鼓の演奏も披露され、会場が一気に盛り上がりました。参加者は思い出話に浸りつつ、次の50年に向けた未来への決意を共有しました。



徳永二男氏



徳永二男氏と渡邊望教授のトークセッション



澤口朗教授「医学部50周年のあゆみ」



鯨島浩 学長



河野俊嗣 宮崎県知事



清山知憲 宮崎市長



丸山眞杉同窓会長による乾杯



池ノ上克 前学長



菅沼龍夫 元学長



海外協定校からのゲスト



学生によるすずかけ太鼓

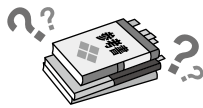
宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学
開講50周年記念事業ホームページ

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/50thanniversary/>

記念事業へのご寄付に、何卒ご協力お願い申し上げます。



開講50周年記念事業
ホームページはこちら



あなたできますか？

—令和5年度 医師国家試験問題より—

(解答は22ページ)

1. 梅毒で誤っているのはどれか。
 - a TPHAは疾患活動性の指標となる。
 - b 他の性感染症の合併について検索する。
 - c 神経梅毒は感染からの期間を問わず起こる。
 - d 妊婦が未治療の場合、児の先天梅毒の原因となる。
 - e 日本では10年前と比較して報告数が増加している。
2. ランダム化比較試験〈RCT〉で正しいのはどれか。
 - a 観察研究である。
 - b 外的妥当性が高い研究である。
 - c 未測定の変動因子に対応できない。
 - d 有病率の低い疾患の研究に適している。
 - e 症例対照研究よりエビデンスレベルが高い。
3. 飲酒がリスクファクターとならないのはどれか。
 - a 食道癌
 - b 認知症
 - c 骨粗鬆症
 - d Wernicke脳症
 - e 慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉
4. 自我障害の訴えでないのはどれか。
 - a 「自分の考えが他人に操られています」
 - b 「自分の考えが抜き取られてしまいます」
 - c 「自分の考えでない考えが勝手に浮かんできます」
 - d 「自分の考えが電波に乗って世界中に伝わっています」
 - e 「自分の考えなど取るに足らない価値のないものです」
5. 出生前診断の中で非侵襲的検査はどれか。2つ選べ。
 - a 絨毛検査
 - b 羊水検査
 - c 超音波検査
 - d 母体血清マーカー検査
 - e 臍帯血検査〈胎児血液検査〉
6. 褥瘡ができやすい部位はどこか。
 - a 耳 介
 - b 手 掌
 - c 臍
 - d 外陰部
 - e 踵 部
7. 放射線の身体的影響で晩期反応〈障害〉はどれか。
 - a 脱 毛
 - b 白内障
 - c 運動失調
 - d けいれん
 - e 皮膚紅斑
8. 抗凝固療法が必須でない人工臓器はどれか。
 - a ECMO
 - b 人工心肺装置
 - c 人工弁（機械弁）
 - d 植込み型ペースメーカー
 - e 植込み型補助人工心臓
9. 29歳の男性。労作時呼吸困難を主訴に来院した。数年前から職場健診で高血圧と尿検査異常を指摘されていたが、医療機関を受診しなかった。1週間前から階段を昇る際に息切れを自覚したため受診した。意識は清明。身長172cm、体重82kg。体温36.4℃。脈拍104/分、整。血圧228/132mmHg。呼吸数20/分。SpO₂96% (room air)。頸静脈の怒張を認めない。心音と呼吸音とに異常を認めない。両前脛骨部に圧痕性浮腫を認める。神経診察で異常を認めない。尿所見：比重1.020、蛋白3+、潜血3+、沈渣に変形赤血球を多数認める。血液所見：赤血球422万、Hb13.7g/dL、Ht40%、白血球9,800、血小板17万。血液生化学所見：総蛋白6.9g/dL、アルブミン3.8g/dL、尿素窒素52mg/dL、クレアチニン4.0mg/dL、Na138mEq/L、K2.9mEq/L、Cl106mEq/L。
降圧薬治療の準備中にまず行う検査はどれか。
 - a 頭部CT
 - b 眼底検査
 - c 頸動脈エコー検査
 - d 腹部エックス線撮影
 - e 足関節上腕血圧比〈ABI〉
10. 23歳の男性。腹痛を主訴に来院した。2日前に上腹部痛を自覚した。本日、明け方から痛みが右下腹部に移動し、悪心を伴うため自宅近くの診療所を受診した。2日間排便がない。臍周囲から右下腹部が痛み、咳で右下腹部に痛みが響くようになったという。尿の異常は自覚していない。意識は清明。体温37.6℃。脈拍88/分、整。血圧108/70mmHg。呼吸数16/分。
この患者の腹部診察で正しいのはどれか。
 - a 直腸指診を行う。
 - b 聴診の前に打診を行う。
 - c 腸蠕動音の聴取は5秒間行う。
 - d 痛みを訴える部位から触診する。
 - e 腸蠕動音の聴取は5か所以上で行う。

エコー・リレー

(591回)

(南から北へ北から南へ)

私の憧れ

延岡市 縁・在宅クリニック いわ 谷 けん し 岩 谷 健 志

エコー・リレーのバトンを受け取りさっそく題材を探していましたが、今年はこの人を書かずして終われません。「大谷翔平」です。「40/40」を決めたサヨナラ満塁ホームランや、「50/50」

を達成した試合の3打席連続ホームラン…挙げればキリがありませんが、今年は毎日大谷翔平の結果に元気をもらいながら過ごしてきました。彼のプレーを見るたびに、野球選手としてだけでなく、一人の人間としての強さを感じます。

私事になりますが開業3年目を迎え、クリニック運営にも慣れてきたとはいえ、悩む日々が続いています。そんなとき、「努力し続けること」「できることを積み重ねる」という大谷選手の一貫した姿勢に背中を押されることが多いです。

私も小学校から大学まで野球部に所属し、今は延岡市の早朝野球に参加する野球好きですが、最近は運動不足で体が思うように動かず、1塁まで転ばずに走ることが毎試合の目標です。同世代のチームメイトも四十肩になったり、アキレス腱を切ったり…。そんな中で、大谷選手の世界的な活躍を見るたび自分がみじめになることもあります。そのたびに心の中で「憧れるのをやめましょう」とつぶやき、メンタルを保っています。

私は世界ではなく、まずは延岡で地域医療に貢献できるよう、精一杯頑張りたいと思います。

[次回は、日向市の高石真那斗先生をお願いします]

文 鳥

宮崎市 宮崎大学医学部附属病院 まつ むら けん ご 松 村 研 吾

文鳥<ブンチョウ>という鳥をご存じでしょうか。スズメ目カエデチョウ科の、体長17cm、体重25gくらいの小鳥です。インドネシア原産で熱帯を中心に野生でも見られますが、日本

では専らペットとして飼育されます。共通して赤いクチバシと目の周りのリングが特徴で、黒・白・灰の体色をもつ野生型(通称・ノーマル文鳥)の他、日本で誕生した白文鳥や、桜、シナモン、シルバー、クリームなどの品種があります。私のお気に入りには白文鳥です。そのシンプルなカラーリングやフォルムは愛らしく、もちっと丸く膨らんだ白文鳥は、まさにイチゴ大福です。

私と文鳥との出会いは小学生のころ、初めて飼育したペットでした。昭和後期に文鳥の生産が盛んだった愛知県弥富市にも何度か足を運びました。毎日水浴びをしてセルフケアをし、夜は人と一緒に寝静まり、お世話に手がかからないのもよいところです。

現在は5羽の文鳥たちと生活しています。1羽を人懐っこく育て上げるのもよいですが、彼らの性格はバラバラで、その違いや関係性を楽しんでいる毎日です。気の合う鳥同士でペアを作り、寄り添ってのんびりしたり、時にはケンカをしたり、お互いの羽繕いをしたり。人と同じように、毎日いろんなことがある中で、鳥たちなりに上手に生きているのだと思います。

ペットショップに行くときセキセイインコの横にいるかもしれません。機会がありましたらぜひ会ってみてください。

[次回は、宮崎市の松本 健吾先生をお願いします]

メディアの目



災害報道への対応と備え

テレビ宮崎 コンテンツプロデュース局報道部 部長

てら だ けん こと
寺 田 健 吾

今年8月8日、日向灘沖を震源とする最大震度6弱の地震が宮崎を襲いました。津波注意報が出されるとともに、全国では初めてとなる「南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。事前の避難は伴わず1週間程度は巨大地震に注意しながらの生活を呼びかけるというものでした。南海トラフ巨大地震が発生すると宮崎県内は最大で震度7の揺れに襲われ、沿岸部では最短14分で最大17mの津波が押し寄せるとされています。またその際の地震の揺れと津波による死者は、およそ1万5,000人と想定されています。

今回初の臨時情報の発表で、南海トラフ地震の脅威がすぐそこにあるということをあらためて考えさせられることになりました。これまでも臨時情報については何度もニュースで放送してきましたが、今回、臨時情報がどんな情報なのか、初めて耳にしたという方が大半を占めていた印象があります。臨時情報の発表で、私たちは何をしなければならないのか、どんな備えをしないといけないのか、連日ニュースで取りあげました。

昨年、日州医事に寄稿させていただいた際「南海トラフ巨大地震 災害報道への対応と備え」というタイトルで東京大学の松尾一郎さんが提唱する「タイムライン」での備えについて述べ

させていただきました。災害時に命を守るため、「いつ」「何を」「誰が」やるべきか、あらかじめ時系列でまとめた防災行動計画を立てるというものです。テレビ宮崎では昨年からのタイムラインの作成に取り組み、発災直後、誰がどのような行動をとり、何をすることで災害報道を続けていくのか、タイムラインをもとにした訓練を続け一定の効果をあげていると考えております。また、テレビ宮崎は全国でも唯一となるフジテレビ系列、日本テレビ系列、テレビ朝日系列に属した3局クロスネット局でもあります。今回の臨時情報を契機として、それぞれの系列との連携も再度確認するとともに、有事の際には系列一丸となって災害報道にあたることを確認しています。

今年1月1日に発生した能登地震、そして8月末に宮崎を襲った台風10号による竜巻被害、さらには復旧の進む能登で発生した記録的な豪雨被害。本当に災害はいつでもどこで、どのように発生するかは全く予測ができないということを、まざまざと感じさせられました。日向灘地震の専門家は、日向灘沖ではまだまだ8月同様の地震が発生する危険性があると指摘しています。いつかは必ず発生するといわれている南海トラフ地震。日頃からの地震への備えと準備が今求められています。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第38回 職員の不祥事と退職金不支給について

**Q.**

当院で勤務していた事務職員が近日中に自主退職することになりました。当院では退職金の規定が就業規則で定まっているので、本来であれば就業規則に基づき退職金を計算して支給することになります。しかし、当該職員はこれまでに問題行動が多く、そのために当院が受けた損害も種々あります。このような場合に退職金を不支給にすることはできますか？

まず退職金請求権は、就業規則などに根拠規定が存在することが前提となります。つまり退職金に関する定めのない場合には、原則として労働者は退職金を請求することができません。本件の場合は退職金の定めがありますので、当該職員はその請求権を有していることになります。

では本件のように問題行動の多かった職員に対して、満額の退職金を支給すべきなのでしょうか？これを減額させる余地はないのかを検討します。

これまでの伝統的な考え方では、退職金とは賃金の後払い的性質を有すると言われていました。つまり、若いときの給料は安く抑えられる代わりに、退職金を最後に出すことによって全体として適正な賃金となるという考えです。年功序列の終身雇用型の働き方を前提にした考え方と言えます。そのため、単なる素行不良があった場合や、勤務態度に問題があった程度の場合には退職金を減額または不支給とするに足りません。裁判例の中には、「労働者の永年勤続の功労を抹消してしまうほどの著しく信義に反する行為があったとき」に限って退職金減額・不支給ができるとするなど、退職金減額・不支給にできる場合を限定的に考えるのが従来の考え方でした。しかしながら近時出された最高裁判所判決では、飲酒運転を行った公務員に対して退職金を支給するか否かの裁量を使用者に認めたうえで不支給とした判断が適法とされたケースもあり、退職金に関する問題は裁判上でも変化が生じている分野の1つです。そのため、例えば当該職員に対して過去に懲戒処分を行ったことがある場合や、会社に損害を与えるような非違行為があった場合には、退職金減額・不支給が認められる余地が認められます。

したがってご質問のケースの場合、当該職員の問題行動・損害を与えた行為の内容や性質によっては退職金の減額が認められる可能性もありますので、ぜひ一度弁護士に相談してみることをお勧めします。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～9月～

令和6年9月2日～令和6年9月29日（第36週～第39週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核10例（男性5例・女性5例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢はいずれも20歳代であった。原因菌はいずれもO157(VT2)で，主な症状として，腹痛，水様性下痢，血便，嘔吐，発熱がみられた。

4類：○日本紅斑熱1例：小林保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱，発疹，肝機能異常がみられた。

5類：○ウイルス性肝炎2例：日南，高千穂保健所管内から報告があった。年齢はいずれも40歳代の男性であった。病型はB型が1例，EBVが1

例で，主な症状として全身倦怠感，嘔吐，発熱，肝機能異常，黄疸，関節痛がみられた。

○クロイツフェルト・ヤコブ病1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，診断の確実度は，ほぼ確実であった。主な症状として進行性認知症，ミオクローヌス，錐体路症状，記憶障害，異常感覚，上下肢痙攣，歩行障害がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は30歳代と40歳代で，主な症状としてショック，腎不全，軟部組織炎，全身性紅斑性発疹がみられた。

○水痘（入院例）1例：日南保健所管内から報告（臨床診断例）があった。年齢は30歳代で，主な症状として発熱，発疹がみられた。ワクチン接種歴は無かった。

○梅毒12例（男性7例・女性5例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表3】，年齢別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，扁平コンジローマ等がみられた。

○播種性クリプトコックス症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として胸部異常陰影がみられた。

○百日咳2例：宮崎市，日向保健所管内から報告があった。年齢別報告数は0～4歳と20歳代であった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込みがみられた。ワクチン接種歴は有りと不明であった。

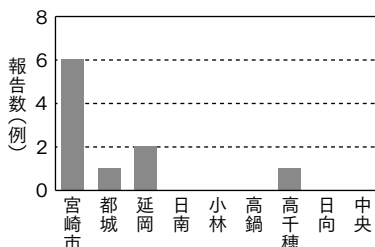


図1 結核 保健所別報告数(例)

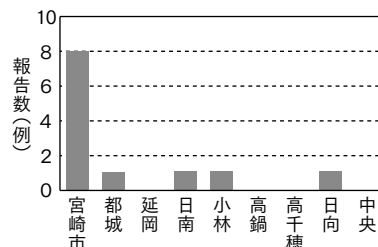


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
その他の結核 (結核性リンパ節炎， 結核性胸膜炎，腸結核)	3
無症状病原体保有者	3

表3 梅毒 病型別報告数(例)

先天梅毒	1
早期顕症梅毒Ⅰ期	3
早期顕症梅毒Ⅱ期	4
無症状病原体保有者	4

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	3
80歳代	2

表4 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	1
10歳代	1
20歳代	2
30歳代	1
40歳代	3
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	1
90歳代	1

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
細菌	Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	1
	EHEC (O157:H7 VT2)	1
ウイルス	Rhinovirus	1
	SARS-CoV-2	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,254人（定点あたり87.1）で、前月の63％、例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の124％であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、手足口病で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及びヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、ヘルパンギーナであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は490人（13.6）で前月の約0.9倍、例年の約3倍であった。日南（21.7）、宮崎市（18.5）、延岡（17.0）保健所からの報告が多く、5歳から8歳が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は836人（23.2）で前月及び例年の約1.9倍であった。宮崎市（34.7）、日南（34.0）、延岡（32.8）保健所からの報告が多く、1歳から4歳が全体の約7割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向（2024年9月）

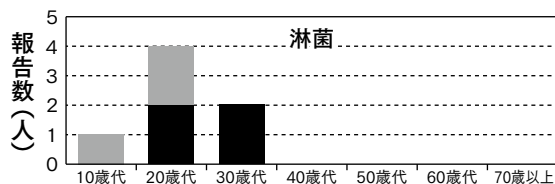
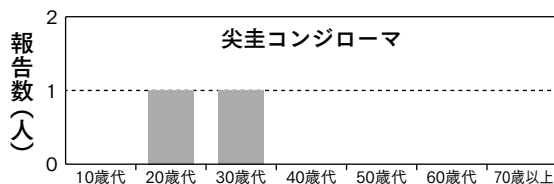
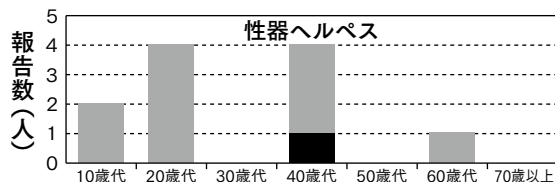
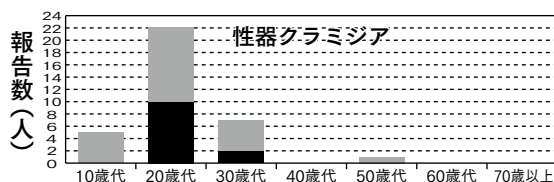
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は55人（4.2）で、前月比97％とほぼ横ばいであった。また、昨年9月（3.3）の約1.3倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数35人（2.7）で、前月の約1.5倍、昨年9月の約1.6倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。（男性12人・女性23人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人（0.9）で、前月の0.5倍、昨年9月の1.1倍であった。（男性1人・女性10人）
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.2）で、前月の2倍、昨年9月と同率であった。（女性2人）
- 淋菌感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約0.6倍、昨年9月の約0.8倍であった。（男性4人・女性3人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は33人（4.7）で、前月比144％と増加した。また、昨年9月（3.0）の約1.6倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数30人（4.3）で、前月及び昨年9月の約1.4倍であった。70歳以上が全体の7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数3人（0.43）で前月の3倍であった。（昨年9月報告なし）
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2024年9月		2024年8月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	146	2.5	28	0.5	
新型コロナ※1	618	10.7	2,908	50.1	
RSウイルス感染症	40	1.1	399	11.1	
咽頭結膜熱	50	1.4	64	1.8	
溶レン菌咽頭炎※2	490	13.6	533	14.8	★
感染性胃腸炎	626	17.4	648	18.0	
水痘	22	0.6	34	0.9	
手足口病	836	23.2	451	12.5	★
伝染性紅斑	6	0.2	0	0.0	
突発性発しん	55	1.5	62	1.7	
ヘルパンギーナ	323	9.0	784	21.8	★
流行性耳下腺炎	4	0.1	13	0.4	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	15	2.5	9	1.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	23	3.3	16	2.3	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	3	0.4	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各都市医師会だより

南 那 珂 医 師 会

な 中 村 彰 伸
会 長

南那珂医師会における会員は、A会員46名、B会員53名、C会員3名、計102名です。理事役員は、副会長に今までどおり河野秀一先生、川西昭人先生に就いていただき、総務担当理事として新たに井藤健先生に就いていただきました。三公立病院から、県立日南病院：木佐貫篤先生、日南市立中部病院：中津留邦展先生、串間市民病院：黒木和男先生に参加いただき、愛泉会日南病院の峰松俊夫先生には県医師会理事を継続してお願いしています。そして各地区理事3名と監事2名の計13名で会務を運営しています。

当会では、ここ数年A会員の退会あるいは廃業が連続し、会員数が減少しました。そのため、皮膚科、耳鼻科、産婦人科の開業施設は各1施設のみで泌尿器科施設はなく、それらの科の患者さんは公立病院で対応していただくことが増えました。病床数については、愛泉会日南病院において人材不足が原因で内科入院受入れを中止しており、県立日南病院も経営的要因から1フロアの休床が予定されていて、入院が必要な患者さんの受入れが困難な状態となりつつあります。

そのような中、新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止となっていた県立日南病院勤務の先生方と南那珂医師会員との懇談会が5年ぶりに開催されました。双方からそれぞれ20名ほどの先生が参加され、県立日南病院の先生方の中には初めてお顔を拝見するという先生が多くいらっしゃいましたが、和気あいあい和やかな雰囲気の中で有意義な時間を過ごすことができました。懇談中、「対応が難しい患者さんは当院で引き受けますので、どんどん紹介してください」という心強い言葉をいただきました。良好な病診連携が構築されていると確信しました。

南那珂医師会は、日南市と串間市から日南市初期夜間急病センター運営と休日在宅当番医業務を委託されています。平日時間外や休日の一次救急の窓口を1年通して開けておくことで、県立日南病院などの救急指定病院の負担軽減の一助となり、住民へ安心を提供できていると考えます。しかしながら、会員が減少している現在、出務機会が増え、会員の高齢化もあって従事する先生方にはかなりの負担となっています。5年後、10年後、これまでどおりの運営が可能か懸念され、システムの見直しを含め行政と協議が必要な時期になっていると感じます。「地域の医療を守る」ことを活動目標に掲げ医師会を運営していくことは変わることはありません。

皆様のご理解とご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



南那珂医師会新役員

役員等名簿（任期 令和6年6月7日定例総会終結後～令和8年6月定例総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	中村 彰伸	眼科	中村眼科	総括
副会長	河野 秀一	内科，呼吸器内科 消化器内科	河野医院	総括補佐，学術・生涯教育， 病診連携，産業医
”	川西 昭人	脳神経外科，神経内科 リハビリテーション科	かわにし脳神経外科	総括補佐，医事紛争，救急医療， 会計，医師国保
* 理 事	井藤 健	耳鼻咽喉科	井藤耳鼻咽喉科	総務，災害対策，園医，学校医
* ”	津曲 俊郎	小児科，アレルギー科	津曲小児科医院	急病センター，学校検診（心臓・腎臓）， 医師国保
”	黒木 和男	内科，消化器内科	串間市民病院	病診連携
”	山田 孝俊	内科，小児科	串間中央クリニック	串間在宅ケア研究会，在宅医療
”	中津留邦展	内科	日南市立中部病院	病診連携
”	峰松 俊夫	内科 基礎医学（ウイルス学）	愛泉会日南病院	宮崎県医師会理事，感染症対策， 医療情報システム
”	木佐貫 篤	病理診断科	県立日南病院	病診連携
”	飛松 正樹	内科，小児科	にちなんファミリー クリニック	保険，介護保険， 日南在宅ケア研究会，在宅医療
監 事	満留 武宣	眼科	みつとめ眼科	
* ”	山見 信夫	小児科	山見医院	
議 長	藤浦 芳丈	循環器内科，内科	藤浦循環器科内科 クリニック	
* 副議長	岡本 将幸	内科，リウマチ科	シロアム内科医院	

* は新任

各郡市医師会だより

西 諸 医 師 会

会長 うち内 むら村 だい大 すけ介

令和6年6月28日の第13回定時総会後の臨時理事会において会長に再任され5期目がスタートいたしました。監事の高崎直哉先生がご勇退され、丸山賢幸先生が後任の監事に就任されました。理事の先生に変更はありません。退任された先生にはこれまでの4期をお支えいただき感謝申し上げます、新たに就任された先生には新執行部の原動力としてご活躍いただければと大きく期待いたしております。

さて、これまで課題となっておりました医師会館の老朽化ですが、このたび新しい会館が完成し心より嬉しく思っております。令和5年7月に旧会館兼准看護学校校舎の解体工事をスタートし、令和6年2月より新築工事に着手、同年9月に竣工を迎えることができました。延床面積152坪、総工費約1億6千万円となりました。会員の先生方から新たな負担をいただくことなく、無事に建設費も捻出することができました。これもひとえに、皆様のご理解とご協力の賜物と思っております。新しい会館には旧会館の講堂と同程度の広さの会議室もあり、今後は講演会や総会などの開催が可能です。この場所が会員の先生方の活発な意見の交換や交流の場となることを期待しております。近くにお越しの際はぜひお立ち寄りいただけますと幸いです。

解決しなければならない課題が山積しておりますが、会員の思いをお聞きしながら新役員一同力を合わせて、地域住民が十分な医療を受けて安心して暮らすことができる街づくりに協力しようと思っております。そして、今後訪れる超高齢化社会に向けても全力で取り組んでいきたい所存でございます。皆様方には、これまで以上に多大なご指導ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



西諸医師会新役員

役員等名簿（任期 令和6年6月28日定時総会終結後～令和8年6月定時総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	内村 大介	精神科	内村病院	総括
副会長	園田 定彦	内科，外科，腎臓内科 消化器内科，整形外科	野尻中央病院	医事紛争，在宅医療，介護， 准看護学校閉校，医師連盟
”	井尻 裕司	眼科	井尻眼科医院	医師国保，医師協同組合， 税務，会計全般
理 事	吉村 雄樹	内科，循環器内科 放射線科	よしむら循環器内科 クリニック	総務，広報，医師年金， 保健予防，学校保健 〔心臓検診委員会〕〔学校医部会〕 〔県医師会理事〕
”	坪内 斉志	外科，消化器外科	小林市立病院	保険医療，救急医療
”	河内 謙介	外科	えびの市立病院	労災医，自賠責 〔勤務医部会〕〔労災医部会〕
”	堀 英昭	外科，消化器外科 内科，乳腺外科	ほりファミリー クリニック	時間外急病診療
”	石澤 宗純	循環器内科，消化器内科 内科，麻酔科	いしざわ循環器内科	学術，生涯教育 〔内科医会〕〔整形外科医会〕
”	竹之内 剛	整形外科，リウマチ科 リハビリテーション科	整形外科前原病院	地域医療，産業医〔産業医部会〕
”	寺谷 威	整形外科，リウマチ科 リハビリテーション科	整形外科押領司病院	厚生，労務
”	楠元 規生	内科，呼吸器内科 リウマチ科，感染症内科	くすもと内科 クリニック	感染症対策，公衆衛生
”	川井田 望	内科，消化器内科 外科，肛門外科 リハビリテーション科	川井田医院	健康教育〔有床診療所協議会〕
* 監 事	丸山 賢幸	外科，内科	園田病院	
”	杉原 純次	耳鼻いんこう科	杉原耳鼻咽喉科	
議 長	志戸本宗徳	内科，リハビリテーション科 放射線科		
副議長	槇 健一郎	内科，呼吸器内科 消化器内科，糖尿病内科	槇内視鏡内科医院	

* は新任

宮崎大学医学部だより

感染症学講座 －寄生虫学分野－



まるやま はるひこ
丸山 治彦 教授

宮崎大学医学部寄生虫学研究室は、1976（昭和51）年に宮崎医科大学寄生虫学講座として開設され、それ以来48年、寄生虫と寄生虫病の研究と教育、診断支援を続けてい

ます。2024（令和6）年9月現在は、教員が4名（教授、准教授、助教2）、インドネシア人博士課程留学生2名、非常勤職員2名からなります。本研究室の特徴として、教員4名のうち3名が医学部医学科の卒業という点が挙げられるでしょう。狙ってこうしたわけではありませんが、菊地泰生准教授が2022年10月に東京大学大学院新領域創成科学研究科教授として転出した後、東京慈恵会医科大学出身で長崎大学で学位を取った田中美緒博士が助教に着任したことで医学部出身者が3名となりました。

さて、当研究室の最近の話題は昨年从今年にかけてのメディア露出でしょうか。まず、研究室のTwitter（現X）アカウントの「中の人」*である田中美緒助教がインターネットテレビ局ABEMAの「ABEMA的ニュースショー（MC千原ジュニア）」にオンライン出演しました。きっかけは昨年11月の寄生虫学実習で、サバに寄生するアニサキスを「アニサキスライト」で照らした動画をTwitterに上げたことです。公開後3～4日にして表示回数は1,800万を越え、「いいね」は12万を叩き出し、動画再生数も500

万回を超えました。これがいくつかのネットニュースに取り上げられて番組スタッフの目にとまり「サバにアニサキスが200匹－予防法は」という放送になったわけです。

(https://abema.tv/video/episode/89-76_s50_p1037で視聴可能)

もうひとつは、BSテレビ東京「居間からサイエンス（MC加藤浩次）」への丸山の出演です。こちらは、本研究室が参加した研究計画「寄生虫を操作する」が科学技術振興機構（JST）の大型予算CRESTに採択され、喜んで出したプレスリリースが宮崎日日新聞、次いで朝日新聞九州版に取り上げられてこれもネットのニュースサイトに載り、ネタを探していた番組スタッフの知るところとなったというわけです。

番組スタッフとは事前の打ち合わせがありましたが加藤さんとのスタジオ収録はリハーサルなし。「じゃあ（カメラの前に）入ってください」でいきなり始まりました。放映されたものを羞恥にのたうちながら観たところ、それは上手に編集してありました。さすがプロです。ただつくづく思ったのが「素人はうかつに出るもんじゃない」ということでした。相手に受けようといつ調子に乗って余計なことを言うってしまうのですね。あれは怖いです。

そんなこんなで、研究室では講義実習、海外からの訪問学生の受入れなどの学部業務、大学院生の研究指導を行い、一丸となってCRESTのプロジェクトを進めています（実は躓きの石がごろごろしているのですがそこは割愛します）。また同時に、従来からの寄生虫症診断支援も続けています。

今後ともこれまで同様、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(精神科医会)

よしだ けんせい
吉田 建世 会長

宮崎県精神科医会は令和6年9月1日現在、A会員が38名、B会員が122名、大学と行政関係の医師であるC会員が22名の合計182名で構成されています。地域別では、県北地区43名、

県央地区90名、県南地区49名となっています。役員は、県北・県央・県南地区から各3名、宮崎大学から1名、宮崎県精神保健福祉センターから1名、県立宮崎病院精神医療センターから1名の12名に加え、監事2名の計14名で構成されています。

1年間の主な事業としては、年1回の「総会」と年2回の学術研究会としての「宮崎県精神科医会懇話会」を開催しております。令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響で、書面決議での「総会」、Web開催での「懇話会」という形式が続いておりました。しかしながら令和5年度からは新型コロナウイルスの5類移行にともない、対面形式で開催することができました。

令和5年度の事業報告となりますが、6月10日に「総会」「第88回懇話会」をアートホテル宮崎で開催し、51名の参加がありました。一般講演では会員の先生方から4題エントリーがあり、講演していただきました。特別講演では鹿児島大学医学部保健学科・同大学院保健学研究所教授の赤崎安昭先生に「刑事精神鑑定～気分障害の鑑定経過及び犯罪病理も含めて～」と題し、ご講演をいただきました。12月2日には「第89回懇話会」をホテルメリージュで開催し、45名の参加がありました。一般講演では会

員の先生方から3題エントリーがあり、講演していただきました。特別講演では山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座教授の中川伸先生に「気分症から見る認知機能と気分の連関」と題し、ご講演をいただきました。社保・国保審査委員の先生方による保険診療についての質疑では、さまざまな意見や質問が挙げられ大変有意義な内容となりました。また会誌第38号を11月に発行し、「生きる力」を育む健康教育充実事業では17校9名を派遣、宮崎日日新聞「きゅんと」に2名が寄稿しました。

令和6年度においては、6月8日に「総会」「第90回懇話会」をアートホテル宮崎で開催し、49名の参加がありました。一般講演では会員の先生方から3題エントリーがあり、講演していただきました。特別講演では島根大学医学部精神医学講座教授の稲垣正俊先生に「自殺予防のためのうつ病・精神障害の発見と支援」と題し、ご講演をいただきました。すべての特別講演の座長は、一般財団法人弘潤会野崎病院院長（前宮崎大学精神医学分野教授）の石田康先生にお願いしました。本年度の今後の予定としては、12月7日に「第91回懇話会」開催、会誌第39号を11月に発行、「生きる力」を育む健康教育充実事業に4名派遣、宮崎日日新聞「きゅんと」に2名が寄稿となっております。

コロナ禍ではできなかった対面による総会や懇話会が開催できるようになり、会員間の親睦もはかられ、参加者も以前より増加した印象さえあります。今後とも精神科医会として、会員への新しい情報の伝達および情報の共有をはかり、本県の精神医療の推進のために努力していく所存です。

－ 各種委員会 －

医学会誌編集委員会

と き 令和6年9月11日(水)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

嶋本常任理事の司会により開会, 小牧副会長の挨拶の後, 甲斐委員長の進行で協議が行われた。

掲載論文19編からなる第48巻第2号のカテゴリの検討が行われ, 総説2編, 臨床研究2編, 診療3編, 症例6編, 地域医療4編, 論説1編, クリニカルカンファレンス1編と, 編集後記担当者を決定した。

第49巻第1号総説の執筆依頼については, 宮崎大学医学部機能制御学講座 蛋白質機能学分野 和田啓教授, 宮崎大学医学部病理学講座 腫瘍形態病態学分野 佐藤勇一郎教授へ依頼することが承認された。

また投稿規定について, 現在の「診療」カテゴリの定義の文章では, 専門医の認定などに支障が生じる場合があるということで, 支障が生じないように修正することが承認され, 県医師会全理事協議会に諮ることとなった。



出席者

県医師会館－甲斐委員長, 松尾副委員長,

中谷・黒木・黒岩・福留・

山下・河野・濱川委員

Web (Zoom)－谷口・中馬・武田・

峰松・細川委員

(県医)－小牧副会長, 嶋本常任理事,

田畑理事, 久永次長, 渡邊係長

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	e	e	e	c, d	e	b	d	b	a

－ 各種委員会 －

健康教育委員会

と き 令和6年9月30日(月)

ところ 県医師会館

吉田常任理事の司会により開会、河野会長の挨拶に続き、本会全理事協議会において本委員会委員長に中山健先生、副委員長に松本英裕先生の就任が承認されたことが報告された。次に河野会長から諮問事項『県民への効果的な健康教育の方法について』が示され、任期中に協議・答申することとなった。その後、中山委員長の進行で報告・協議が行われた。

報 告

1 令和5年度県民健康セミナーについて

「健康寿命、日本一を目指そう！」をテーマに令和6年2月18日(日)に開催した。令和4年度まで宮崎県医師会創立記念医学会との併催としていたが、令和5年度から単独で開催することとし、現地60名、Web12名の合計72名の県民の参加があり大変好評であった。

2 健康教育事業について

本会、各郡市医師会、各専門分科医会が行った健康教育事業について報告を行った。令和5年度の実績は、各郡市医師会が39件、各専門分科医会が76件であった。本会は、宮日生活情報紙「きゅんと」や宮日ホームマガジン「rapia（ラピア）」、宮崎日日新聞生活情報面「教えてドクター」などを通して県民の健康保持増進や疾病に対する正しい知識の啓発に取り組んだ。

3 健康教育事業費補助事業について

平成26年度から開始した同補助事業について説明があった。各郡市医師会、各専門分科医会およびこれらに準ずる県内の医



師で構成する団体が健康教育事業を実施した際、経費を補助することで県民の健康の保持増進に寄与することを目的としている。来年度もこの事業を行うことを説明し、開催を検討していただくよう依頼した。

協 議

1 令和6年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

昨年同様、単独開催を行うことが説明された。健康教育委員会からの2題、健康スポーツ医学委員会からの1題、計3題の講演を行うこととし、健康教育委員会からのテーマ案を検討した結果「入浴」、「睡眠」に関する内容とすることが決定された。

2 諮問事項「県民への効果的な健康教育の方法について」

意見交換を行った。

出席者－中山委員長、松本副委員長、
眞柴・甲斐・宮尾・中津留・
帖佐（悦）・福井・河野委員
（県医）－河野会長、小牧副会長、吉田常任理事、
久永次長、松崎主事

－ 各種委員会 －

健康スポーツ医学委員会

と き 令和6年10月3日(休)

ところ 県医師会館

大塚常任理事の司会により開会、河野会長の挨拶に続き、本会全理事協議会において本委員会委員長に帖佐悦男先生、副委員長に松村隆先生の就任が承認されたことが報告された。次に河野会長から諮問事項『第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会への対応について』が示され、任期中に協議・答申することとなった。その後、帖佐委員長の進行で報告・協議が行われた。

報 告

1 令和5年度健康スポーツ医学セミナーについて

令和6年1月25日(休)に開催した健康スポーツ医学セミナーについて報告が行われた。

2 令和5年度県民健康セミナーについて

「健康寿命、日本一を目指そう！」をテーマに令和6年2月18日(日)に開催した。令和4年度まで宮崎県医師会創立記念医学会との併催としていたが、令和5年度から単独で開催することとし、現地60名、Web12名の合計72名の県民の参加があり大変好評であった。

3 その他

日本医師会認定スポーツ医の更新申請について、有効期限内に単位取得するよう注意喚起が行われた。

協 議

1 令和6年度健康スポーツ医学セミナーについて



2027年開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を視野に入れ、テーマ、講師などを決定することとした。

2 令和6年度県民健康セミナーについて

昨年同様、単独開催を行うことが説明された。健康スポーツ医学委員会からの1題、健康教育委員会からの2題、計3題の講演を行うこととし、健康スポーツ医学委員会からのテーマを検討した結果「運動指導」に関する内容とすることが決定された。

3 宮崎県スポーツドクター連盟について

令和5年度の歳入歳出決算、令和6年度事業計画・予算について協議し承認された。

4 諮問事項「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会への対応について」

現状について宮崎県庁の担当者に説明していただき、意見交換を行った。

出席者－帖佐委員長、松村副委員長、

押川・宮永・柳田・名越・比嘉・山崎委員
(県医)－河野会長、池井・大塚常任理事、
落合・河原・吉村理事、
久永次長、松崎主事

「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和7年1, 2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど(1枚程度, カラー印刷はできません)
字 数 800字程度(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことが
ありますのでご了承ください)

締 切 令和6年12月6日(金)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
- ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」
である旨とタイトル、ご氏名を明記のうえお送りください。

九州医師会連合会第417回常任委員会

と き 令和6年8月24日(土)

ところ ホテル日航熊本

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶（熊本県福田会長）

挨拶に引き続き、議案説明のため長崎県藤井卓委員、熊本県水足秀一郎委員・中村英一委員の3名に同席いただくことの確認が行われた。

3 報 告

1）九州医師会連合会事務引継ぎ（令和6年7月20日(土)長崎市）について（熊本）

監査会に引き続き、長崎県および熊本県の関係役職員が出席し、公印・帳簿・繰越金などを無事熊本県に引き継いだ旨の報告が行われた。

2）九州医師会連合会第127回定例委員総会について（熊本）

常任委員会終了後に開催される委員総会の進行などの確認が行われた。

4 議 事

第1号議案 令和5年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

長崎県から、歳入合計135,052,927円（前年度繰越85,591,468円含む）、歳出合計43,886,385円、差引91,166,542円を熊本県に繰越す旨の説明が行われ、原案どおり承認された。

第2号議案 令和6年度九州医師会連合会事業計画に関する件

熊本県から、定例諸会議および支援すべき事項などに関する事業計画の説明が行われ、原案どおり承認された。

第3号議案 令和6年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

第4号議案 令和6年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

議案第3号および4号は一括提案となり、熊本県から、前年度同額の会員一人年額2,000円（減免を除き23,836名）とすることおよび歳入歳出合計140,539,542円からなる予算の説明が行われ、原案どおり承認された。

第5号議案 令和6年度九州医師会連合会監事（2名）の選定に関する件

熊本県から、慣例で隣県の福岡県瀬戸裕司委員、鹿児島県大西浩之委員を監事に選定することが提案され、原案どおり承認された。

第6号議案 令和6年度第124回九州医師会医学会事業計画に関する件

熊本県から、11月15日(金)に前日諸会議、16日(土)に役員合同協議会と総会・医学会、17日(日)に5つの分科会と6つの記念行事を計画している旨の説明が行われ、原案どおり承認された。

第7号議案 令和6年度第124回九州医師会医学会会費賦課に関する件

熊本県から、前年度同額の会員一人年額2,000円（減免を除き23,836名）とする旨の説明が行われ、原案どおり承認された。

以上、第1号議案から7号議案の審議結果は、定例委員総会に上程することが重ねて承認された。

第8号議案 次回第125回（令和7年度）九州医師会医学会開催担当県の決定並びに次々回第126回（令和8年度）同学会開催担当県の内定に関する件

九医連（九州医学会）医学会施行細則などをふまえ、次回担当県を福岡県に決定、次々回担当県を鹿児島県に内定することが承認された。

5 協 議

1) 九州医師会連合会第419回常任委員会並びに第128回臨時委員総会（11月15日(金)熊本市）の開催について（熊本）

熊本県から、16時から九医連常任委員会、17時から臨時委員総会をいずれもホテル日航熊本で開催する旨の説明が行われ、原案どおり承認された。

2) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会（11月16日(土)熊本市）の開催について（熊本）

熊本県から、例年同様、日医松本会長に中央情勢報告をお願いする旨の説明が行われ、原案どおり承認された。

3) 日本医師会「診療所における新興感染症対策研修会検討委員会（プロジェクト）」委員のブロック推薦について（熊本）

熊本県から、研修会の企画などを行うため日医からブロック推薦の依頼があった旨の説明が行われ、協議の結果、沖縄県から委員を推薦することが承認された。

6 その他

1) 学校医活動における眼科と耳鼻咽喉科の九州各県の状況について

鹿児島県牧角会長から、特定の診療科の学校医が不足し苦慮している現状に対し問題提起があり、九州各県の状況を意見交換するとともに、宮崎県河野会長から、あらためて11月9日(土)に宮崎市で開催される第55回全国学校保健・学校医大会への参加協力依頼が行われた。

7 閉 会

出席者－河野会長、竹崎事務局長

10月のベストセラー（宮崎県）

集計：2024年10月1日～10月24日

1	口に関するアンケート	背 筋	ポ プ ラ 社
2	傲慢と善良	辻 村 深 月	朝 日 文 庫
3	苦しかったときの話をしようか	森 岡 毅	ダイヤモンド社
4	いのちの車窓から 2	星 野 源	KADOKAWA
5	投資依存症	森 永 卓 郎	三五館シンシャ
6	脳に効く早口ことば	川島隆太・大谷健太	サンマーク新書
7	鳥の緑羽	阿 部 智 里	文 春 文 庫
8	人生は「気分」が10割	キ ム ・ ダ ス ル	ダイヤモンド社
9	穢れた聖地巡礼について	背 筋	KADOKAWA
10	透明な螺旋	東 野 圭 吾	文 春 文 庫

全国医師会医療秘書学院連絡協議会 第74回定例総会・令和6年度第1回運営委員会

と き 令和6年9月7日(土)

ところ ホテルグランヒルズ静岡（静岡市）

令和6年度の全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会は、静岡県医師会の担当で開催された。

協議会会長挨拶 静岡県医師会会長 加陽 直実

本協議会は、武見太郎元日本医師会長の提唱により誕生した日本医師会認定医療秘書養成学校の全国組織として昭和40年に発足した伝統のある協議会で、現在の加盟県は13県となっている。昨今急速に進む少子化の中、各学院、学校におかれては、入学者の募集や教職員の確保など、その運営にはさまざまな工夫、取り組みがなされているかと思う。限られた時間ではあるが、活発に意見交換をいただき、有意義な時間としていただきたい。

来賓祝辞 日本医師会常任理事 江澤 和彦

松本会長より挨拶を預かっているので代読させていただきます。

日頃より本会認定医療秘書の養成にご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、間もなく2025年を迎え、生産年齢人口の減少による超高齢社会がさらに進行する。この2025年問題、さらに4月から施行された医師の働き方改革は、医師をはじめ人材不足を加速させ、医療現場に深刻な影響をもたらすことが心配される。国民に良質で安全な医療を提供するためにも、医師が本来の業務に専念できる環境を整えることが必要であり、充実したカリキュラムで高い教養、資質を身に



つけた本会認定医療秘書の活躍による支援が大いに期待されるところである。ぜひ、人の命に携わる医療を提供する道になるべく、勉強することの素晴らしさを学生さんにお伝えいただきたい。

報 告

- 1 令和5年度会務報告について
- 2 第1回常任委員会について
- 3 日本医師会医療秘書認定試験委員会について

第45回医療秘書認定試験を令和7年2月2日に各県医師会または医療秘書学院を試験会場として実施する。試験科目は従来と同じで、2月26日に合格発表を行う予定。

- 4 令和6年度各学院の現況調査結果について
- 5 第28回医療保険請求事務実技試験について

試験日については、統一することは難しいと判断し、5日間の期間中（令和6年10月28日～11月1日）に各県医師会または医療秘書学院を試験会場として適宜実施する。12月下旬に合格発表を行う予定。

協 議

- 1 令和5年度収支決算について
原案どおり承認された。
- 2 令和6年度事業計画（案）について
原案どおり承認された。
- 3 令和6年度収支予算（案）について
原案どおり承認された。
- 4 次期当番県の決定について
次期当番県は愛知県に決定した。

医療事務の初任給を見ると、他産業との開きが大きくなっているのを実感しており、また学校運営も大変厳しい状況にあると思う。課題をいろいろ吸収しながら、日本医師会でできることを対応していきたいと思う。

次期当番県医師会長挨拶

愛知県医師会長 柵木 充明

来年の定例総会は、令和7年10月18日に開催予定。

総 括 日本医師会常任理事 江澤 和彦
昨今、他業界、他産業は非常に賃上げが勢いよく、それも相まって、特に介護人材をはじめとした産業の流出が止まらない状況である。

閉 会 静岡県医師会長 加陽 直実

出席者一金丸副会長、池井常任理事、松崎主事

お知らせ

令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。

貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、宮崎学園短期大学よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和7年3月末卒業予定者

【就職希望者】 8名（男0人、女8人）

【就職希望地】 宮崎市内5名、都城1名、延岡・日向2名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL：0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子

キャリア教育センター センター長 河野 豪

日医インターネットニュースから

■偏在対策に「開業規制」、意見割れる — 厚労省・検討会 —

厚生労働省は9月30日に開いた「新たな地域医療構想等に関する検討会」（座長＝遠藤久夫・学習院大学長）に、医師偏在対策の具体的な手法を示した。規制的手法の一つとして、医師多数区域における開業規制を提示。構成員の間で意見が割れた。

この日は、年内に策定する総合的な対策パッケージの骨子に沿って、検討を行った。早急に医師確保が必要な「重点医師偏在対策支援区域（仮称）」を設定することや、中堅・シニア以上の移転を促すためのマッチング機能を支援すること、都道府県と大学病院間の連携パートナーシップ協定締結を推進し、医師派遣・医師確保を強化するといった厚労省案に異論はなかった。

一方、厚労省は規制的手法も提示。▽医師少数区域等での勤務経験が必要な管理者要件を地域医療支援病院以外に拡大する▽外来医師多数区域における新規開業希望者に対する都道府県側の必要な医療機能要請の実効性を確保し、正当な理由なく応じない場合は勧告・公表する▽多数区域における開業を許可制とし、上限を定める▽保険医療機関の管理者要件として一定期間の保険医勤務経験を設定する—といった案で、こちらは意見が分かれた。

少数区域勤務に関する管理者要件の拡大については、「病院長に必要な資質が多岐にわたる中で、少数区域勤務を要件化すると手がいなくなる」「今の若い医師は、そもそも管理者になりたくない」といった、実効性への懸念が相次いだ。

対して河本滋史構成員（健保連専務理事）は、中途半端な拡大にとどまらず「かなり幅広い医療機関を対象に」と主張。「国の関与と強力な規制で医師の配置転換を進めなければ問題は根本的に解決しない」とし、多数区域での開業についても「不足機能を充足させる場合のみ。守らない場合は指定取消し」と提案した。

●過度の規制に反対 江澤構成員

土居丈朗構成員（慶応大経済学部教授）も「規

制的手法はまだ甘い。現状の手法では是正の力は弱い」と訴えた。参入規制はタクシー業界など他産業でもあること、医師養成や診療報酬には税金や保険料が投入されていることなどを根拠に、多数区域における規制導入の正当性を指摘した。

河本氏と土居氏は、重点医師偏在対策支援区域などへの経済的インセンティブと同時に、医師多数区域に対するディスインセンティブも必要との姿勢も示した。

一方、江澤和彦構成員（日本医師会常任理事）は「指定の取り消しは職業選択の自由との関係整理が必要だ。自由開業の否定となるような、過度の規制には反対する」と明確に反論した。

（令和6年10月4日）

■22年度国民医療費、46兆6967億円 — 前年度比3.7%増 —

厚生労働省は10月11日、2022年度の国民医療費が前年度から1兆6608億円（3.7%）増の46兆6967億円だったと発表した。人口1人当たりの国民医療費は37万3700円で前年度から1万4900円増えた。

診療種類別に見ると、内科診療医療費は33兆8255億円（前年度比1兆4230億円増）だった。その内訳は、入院医療費が17兆3524億円（4973億円増）、入院外医療費が16兆4731億円（9257億円増）。そのほか、歯科診療医療費は3兆2275億円（796億円増）、薬局調剤医療費は7兆9903億円（1109億円増）、療養費等は4610億円（115億円減）、訪問看護医療費は4633億円（704億円増）だった。入院時食事・生活医療費は7290億円で前年度から117億円減った。

内科診療医療費の傷病分類別は、「循環器系の疾患」6兆1731億円、「新生物（腫瘍）」4兆9692億円、「筋骨格系および結合組織の疾患」2兆6708億円の順に多かった。「損傷、中毒およびその他の外因の影響」は2兆5651億円、「泌尿路生殖器系の疾患」は2兆4056億円だった。

財源別は、公費が17兆6837億円（5812億円増）。このうち国庫は11兆7912億円（3885億円増）、地方は5兆8925億円（1927億円増）だった。保険料は23兆3506億円（8549億円増）で内訳は、事業主が10兆1316億円（3940億円増）、被保険者が13兆2189億円（4608億円増）。患者負担は、5兆4395億円で前年度から2301億円増えた。

制度区分別は以下の通り。▽公費負担医療給付分＝3兆4884億円（1748億円増）▽医療保険等給付分＝21兆1015億円（5309億円増）▽後期高齢者医療給付分＝16兆4554億円（7308億円増）▽患者等負担分＝5兆6524億円（2254億円増）一。

●1人当たり最高は高知、最低は埼玉

都道府県別の人口1人当たり国民医療費が最も高かったのは高知で47万8900円。鹿児島のは45万6500円、徳島の44万8400円が続いた。低かったのは埼玉の33万2000円、千葉の33万4100円、神奈川の33万8400円だった。

（令和6年10月18日）

■働き方改革、宿日直や外来診療に影響 — 日医調査 —

日医は10月23日の定例会見で、医師の働き方改革と地域医療への影響に関する調査（制度開始後調査）の結果を明らかにした。制度開始直前と比較し、自院の医療提供体制に大きな影響は生じていないものの、宿日直体制や外来診療体制には影響が出ていることが分かった。また、地域の医療提供体制で実際に生じていると考えられている問題点については、「救急搬送の受け入れ困難（断り）事例の増加」が15.6%と最も多かった。

同調査は、今年4月にスタートした医師の働き方改革の制度開始後の現状を把握するため、全国の有床診療所と病院計1万4216施設を対

象に、8月20日～9月2日にかけて実施。4082施設（有床診療1122施設、病院2960施設）から回答を得た（回答率28.7%）。

制度開始直前に実施した調査と比較し、影響が大きくなった項目には外来診療体制の縮小（「行っている」が9.3%、直前調査では7.1%）や、宿日直体制の縮小・撤退（8.2%、6.2%）が挙げられた。また、救急医療体制や小児医療体制についても、縮小・撤退を「行っている」との回答がそれぞれ5.3%（4.3%）、2.3%（1.8%）と影響が大きくなった。

●「宿日直の応援医師確保が困難」21.6%

また、医師の引き揚げによる影響については、医師を派遣している672施設のうち8.8%が「引き揚げる医師が昨年度より増加している」と回答。また、7.0%が「宿日直の応援医師の派遣を制限する事例が昨年度よりも増加している」と答えた。

一方、医師を受け入れている2927施設に医師の引き揚げによる影響を聞いたところ、11.2%が「引き揚げにより医師数が昨年度より減少している」と回答。また、21.6%が「宿日直の応援医師の確保が昨年度より困難になっている」としている。

このほか、地域の医療提供体制で実際に生じている問題を聞いた結果、▽救急搬送の受け入れ困難（断り）事例の増加（15.6%）▽専門的な診療科の紹介患者（ハイリスク患者）の受け入れ困難（8.3%）▽医療圏域外への搬送事例の増加（7.5%）一などが上位に挙げられた。

同日の会見で、城守国斗常任理事は調査結果について「各都道府県医にフィードバックし、それぞれの医療機関をサポートする検討材料として活用いただきたい」と説明。また、都道府県医ではカバーしきれない部分については、日医としても支援策を検討していく考えを示した。

（令和6年10月25日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID：会員ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

グループ保険(団体定期保険)のおすすめ

死亡保障は最大
4000万円!

特 徴



- ①「お手頃な保険料」
スケールメリットを生かしたお手頃な保険料で補償を準備
- ②「毎年見直しができる」
ライフステージの変化に合わせて補償を毎年見直せます
- ③「ご家族の補償も準備」※1
配偶者様も一緒にお申込みできます
- ④「配当金も魅力」※2
剰余金が生じた場合は、配当金を受け取れます
- ⑤「申し込み手続きが簡単」※3
簡単な告知のみで、医師の診査は必要ありません



※1 本人は1,000万から4,000万まで、500万刻みで加入でき、
配偶者は1,000万まで加入できます。

※2 配当金は毎年変動し、0(ゼロ)となる可能性もあります。

※3 健康状態によっては加入できない場合があります。

【補償内容】

死亡や所定の高度障害になった場合に、お支払いします

【加入資格】

新規加入は満50歳6カ月まで、継続は80歳6カ月まで

【月額保険料例】

40歳男性、補償金額4,000万円のケース・・・5,240円

45歳女性、補償金額4,000万円のケース・・・5,400円

50歳男性、補償金額4,000万円のケース・・・9,800円

(この保険の詳細等は下記までお問い合わせください)

【お問い合わせ先】

宮崎県医師協同組合

TEL: 0985-23-9100

FAX: 0985-23-9179

お知らせ

“8月に本県を襲った地震および台風”
に関する原稿募集

8月8日(木)に日向灘を震源とする最大震度6弱（マグニチュード7.1）の地震が本県で発生しました。2019年に運用が開始された「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表され、およそ1週間の間、緊張状態が続きました。

また同月29日ごろ、台風10号の上陸によって県内各地で突風が発生するなど、大きな被害を与えました。

被害に遭われました方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率は70～80%と言われ続けています。また、台風については地球温暖化の影響により、勢力をあまり落とさないまま日本に近づくことが多くなりました。

災害発生時の対応の再確認やBCP（事業継続計画）の作成・見直しなど、日頃からの備えが大切です。

広報委員会では、今回の災害の体験を過去のものとして今後に活かせる教訓とするために、これらに関する原稿を募集することといたしました。

地震が発生したときや台風が上陸したときの状況、その際の対応、備えはしていたのに実行できなかったこと、気付いたことなど、内容は自由です。

当時の経験を共有し、今後の行動として会員の皆様の参考になるよう、奮ってご投稿をお願い申し上げます。

※ 掲載の可否は広報委員会にご一任ください。

募集要項

■ 募集原稿

1) 体験記 字数：800～1,200字

※写真も受け付けます（掲載は白黒）。

写真1枚約200字相当です。

2) 体験記（ショート版） 字数：200字以内



体験記（ショート版）は
こちらの二次元コードからも
ご投稿が可能です。

■ 締 切

令和6年12月2日(月)まで

■ 宛 先

E-mail：genko@miyazaki.med.or.jp FAX 0985-27-6550

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101 宮崎県医師会広報委員会宛

**令和6年9月3日(火) 第6回常任理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について**

- ①「特定行為に係る看護師の研修制度」推進検討会の委員推薦について
→特定行為に係る看護師の研修制度推進に向けて必要な事項を検討する検討会の任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、引き続き、医療関係者対策担当の池井常任理事と赤須常任理事を推薦することが承認された。

2. 業務委託について

- ①令和6年度高次脳機能障がい講演会業務の委託契約について
→高次脳機能障がいに関する診断技術の向上を目的に講演会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

- ①12/1(日)(都城市)第29回宮崎県理学療法学会の後援について
→「CONNECT～学会で繋がる人・地域・明日からの臨床」をテーマに開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。

- ②11/23(土)(宮崎市)第12回呼吸療法勉強会の後援について

→呼吸療法に携わる医療従事者を対象に、質の高い呼吸管理と看護・リハビリテーションを提供することを目的に開催する勉強会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 10/8(火)(アートホテル)宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会の開催について

宮崎大学との連携強化のため意見交換をする懇談会で、開催すること及び対象者を大学側が学長、理事、副学長、医学部長、病院長、医学部教授(医師)、医師会側が郡市会長、専門分科医会長、代議員、顧問、役員とし案内することが承認された。

5. 11/16(土)(熊本)九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における松本日本医師会長講演「中央情勢報告」への要望事項等について

本協議会で取り上げてほしい日医への質問・要望事項があれば、事務局を経由して会長に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

(報告事項)

1. 8月末日現在の会員数について
2. 8/28(水)日医医療秘書認定試験委員会について
3. 8/31(土)(県医)産業医研修会(前期)について
4. 8/30(金)(県医)県との妊婦健診等に関する協議会について
5. 8/31(土)(県医)在宅医療協議会総会・研修会について
6. 9/2(月)(県医)県認知症疾患医療センター合同会議について

医師連盟関係**(議決事項)****1. 9/8(日) (JA-AZM) 自民党宮崎県第一選挙
区支部総会開催について**

欠席することが承認された。

**2. 9/12(木) (宮観ホテル) 令和6年度三師会懇
談会における提出議題について**

歯科医師会及び薬剤師会から複数の提案事項があったため、本会からの提案事項は無しとすることが承認された。

令和6年9月10日(火) 第11回全理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について**

①宮崎県母子保健運営協議会の委員の推薦及び就任について

→母子保健事業の総合的、効果的な実施等を目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、県医師会枠で嶋本常任理事を推薦することと、県産婦人科医会枠と県小児科医会枠については、それぞれ医会の了解を得たうえで推薦することが了承された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①11/26(火) (ニューウェルシティ宮崎)「医療ガス安全講習会」の後援名義使用許可について

→医療機関で使用される医療ガスの安全な取扱いについて、医療従事者を対象とした講習会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する委員会について、

医業経営検討委員会に吉田常任理事が、学校保健委員会に高木常任理事が、広報委員会に荒木常任理事が就任することが承認された。

**4. 9/24(火) (県医) 各郡市医師会長協議会の
提案事項に対する対応について**

宮崎市郡医師会からの提案事項については、医師の働き方改革の観点から池井常任理事がコメントすることが承認された。

**5. 11/12(火) (県医) 県福祉保健部・病院局と
県医師会との意見交換会の開催について**

県に対し来年度の要望をするための意見交換会で、本会主催で開催することが承認された。要望内容については、各郡市医師会にも照会し、担当役員が各郡市医師会の意見を含め簡潔に取りまとめることとなった。

**6. 12/5(木) (日医) 都道府県医師会医事紛争
担当理事連絡協議会の開催について**

医事紛争における諸問題の検討および共有、「日本医師会医師賠償責任保険制度」の円滑な運営を目的に開催される連絡協議会で、市来常任理事が出席することが承認された。

**7. 令和7年度地域医療介護総合確保基金(医
療分) 事業提案及び意向調査結果について**

病院の機能分化・連携を推進するための基盤整備に係る事業実施意向調査により希望のあった3件について、県に回答することが承認された。

**8. 10/10(木) (東京) 令和6年度第1回医療政
策研修会の開催について**

各都道府県における地域医療構想や医師確保に関する取組を推進することを目的に開催される研修会で、地域医療構想アドバイザーである金丸副会長が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 9/6(金) (宮観ホテル) 未来の医療を語る
オールみやざき交流会について
3. 9/7(土) (静岡) 全国医師会医療秘書学院
連絡協議会定例総会等について
4. 9/4(水)土曜会 (報道機関支局長の会) と
の懇談会について
5. 8/31(土) (シーガイア) 保育支援事業スキ
ルアップ研修会・全体顔合わせ会について
6. 9/8(日) (県医) 人体シミュレータを用い
た小児在宅医療実技講習会について
7. 9/3(火) (県医) 母体保護法指定医師審査
委員会について
8. 9/7(土) (県医) 県医師会医学会について
9. 9/6(金) (県医) 県認知症高齢者グループ
ホーム連絡協議会理事会について
10. 9/6(金) (県医) 認知症サポート医・かか
りつけ医スキルアップ研修会について
11. 9/9(月) (県医) 男女共同参画委員会につ
いて

令和6年9月24日(火) 第12回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

高齢による日医及び県医会費減免の1名、高齢による県医会費減免の1名の申請が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

- ①「宮崎県認知症疾患医療センター指定医療機関選考委員会」委員の推薦について
→認知症疾患医療センターの新規指定の公募に伴い設置される委員会委員の推

薦依頼があり、荒木常任理事と新たに吉見常任理事を推薦することが承認された。

②審査運営協議会委員の委嘱について

→任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

3. 業務委託について

- ①令和6年度広域インフルエンザ及び新型コロナウイルス定期予防接種 (B類疾病) の業務委託契約について

→高齢者のインフルエンザ及び新型コロナウイルス定期予防接種について、圏域を越えて広域的に実施できるよう県内26市町村と契約を行うもので、契約を締結することが承認された。

- ②令和6年度A類疾病予防接種に係る広域契約について

→A類疾病の予防接種について、圏域を越えて広域的に実施できるよう県内26市町村と契約を行うもので、契約を締結することが承認された。

- ③令和6年度外国人患者受入れ環境整備推進セミナー事業に関する業務の委託契約について

→外国人患者の受入体制整備に必要な知識を学ぶためのセミナーを開催する事業で、契約を締結することが承認された。

4. 第124回九州医師会連合会総会における「宣言・決議 (案)」について

九医連担当の熊本県医師会より、11月16日に開催される総会で採択する宣言と決議の案に対する意見等の照会があり、災害医療の箇所について修正回答を行うことが承認された。

5. 母体保護法の指定申請について

医師の申請1名を母体保護法指定医師審査委員会の答申通り指定することが承認された。

6. 10/17(木)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

4医療機関を対象に行われる個別指導で、池井常任理事を立会人として派遣することが承認された。

7. 令和6年度医療機関税制セミナーの開催募集について

医療機関経営に係る税制・税務の理解を深めるためのセミナーについて、日本医師会より本県での開催について依頼があり、日本医師会、TKC全国会、県医師会、県医師協同組合の4者共催で例年どおり開催することが承認された。

8. 宮崎県医師会医学会誌投稿規程の改正について

「診療」カテゴリーに関する記載を変更することが承認された。

9. 10/11(金)都道府県医師会自賠責保険担当理事連絡協議会の開催について

新基準についての再認識と、制度化に向けたこれからの取組み、そして実態調査への協力依頼などを共有することを目的に開催される連絡協議会で、赤須常任理事と河原理事がWeb会議で出席することが承認された。

10. 10・11月の行事予定について**(報告事項)****1. 9/13(金)厚生労働省迫井医務技官との意見交換会について****2. 9/17(火)(日医)都道府県医師会長会議について****3. 9/18(水)(支払基金)支払基金審査運営協議会について****4. 9/11(水)(県医)広報委員会について****5. 9/19(木)(県防災庁舎)社会保険医療担当者の集団的個別指導について****6. 9/19(木)(県医)学校医部会総会について****7. 9/19(木)(県医)園医部会総会・研修会について****8. 9/14(土)(綾)ロコモ予防運動推進事業養成講座について****9. 9/17(火)(県医)組織強化・将来構想委員会小委員会について****10. 9/12(木)(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について****11. 9/11(水)(県医)医学会誌編集委員会について****医師連盟関係****(議決事項)****1. 10/2(水)(宮崎市民文化ホール)連立与党時局講演会のご案内について**

現下の重要な政治課題等についての講演会で、出席を希望する場合は事務局へ届け出ることと、先方が動員を希望しているため、事務局5名程度が出席することが承認された。

(報告事項)**1. 9/12(木)(宮観ホテル)三師会懇談会について****2. 9/17(火)(日医)日医連かまやちさとし決起大会について**

県 医 の 動 き

(10月)

1	第7回常任理事協議会（会長他）	19	九州医師協同組合連合会通常総会（河野理事長他）
2	日医学校保健委員会（Web会議）（高木常任理事） 全国学校保健学校医大会実行委員会・試食会（会長他） 連立与党 時局講演会	21	県障害者施策推進協議会（金丸副会長） 労災診療費算定実務研修会（Web会議） 県障がい者差別解消支援協議会に係る勉強会（金丸副会長） 県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会（河原理事） 臨床研究倫理審査準備会（落合常任理事）
3	健康スポーツ医学委員会（Web会議）（会長他）	22	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会（大塚常任理事） 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会（玉置常任理事） 組織強化・将来構想委員会（会長他） 全国学校保健・学校医大会シンポジウム打合せ会（小牧副会長他） 全国学校保健・学校医大会シンポジウム打合せ会（Web会議）（小牧副会長他）
4	日医新会員情報管理システム（MAMIS）事務局説明会（Web会議） 保健医療福祉調整本部図上訓練Ⅱ事前説明会（金丸副会長） 労災部会自賠委員会（Web会議）（赤須常任理事他） 県内科医会学術委員会（Web会議）（玉置常任理事） 全国学校保健・学校医大会シンポジウム打合せ会（小牧副会長他） 損害保険医療協議会（Web会議）（赤須常任理事他）	23	たけい俊輔中央地区個人演説会 県中部地域産業保健センター運営協議会（吉見常任理事） 広報委員会（高木常任理事他）
5	九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会（嶋本常任理事他） 県警察医会総会・特別講演会 九医連常任委員会（会長） 九医連各種協議会（小牧副会長他） 九医連各種協議会報告会（会長他）	24	産業保健活動推進全国会議（Web会議）（池井常任理事） 社会保険医療担当者の新規個別指導（高木常任理事）
6	県小児科医会役員会（高木常任理事） 宮崎から医師をめざそう！応援フォーラム 県小児科医会秋季学術講演会（高木常任理事）	25	医師国保組合理事会（秦理事長他）
8	宮崎大学と県医師会との懇談会（会長他）	26	ICLS指導者養成ワークショップ 全国医師会勤務医部会連絡協議会（金丸副会長他）
9	県感染症対策連携協議会（金丸副会長他）	27	ACLS研修会 都道府県災害医療コーディネーター研修（吉見常任理事） 福岡県医師会勤務医交流会（金丸副会長他）
10	医療政策研修会（金丸副会長） 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会（Web会議）（会長他） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議）（上山理事）	28	みやざき愛の献血運動推進県民大会（金丸副会長） 県感染症対策審議会（吉田常任理事） 医師クラーク育成・スキルアップ研修会（Web会議）
11	都道府県医師会自賠責保険担当理事連絡協議会（Web会議）（赤須常任理事他） 在宅医療研修会企画小委員会（Web会議）（吉見常任理事）	29	第14回全理事協議会（会長他） 宮大医学部附属病院専門研修プログラム連絡協議会（大塚常任理事） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本常任理事） 医協理事会（理事長他） 医協理事・運営委員合同協議会（理事長他）
12	友好団体との懇談会 保健医療福祉調整本部図上訓練Ⅱ（金丸副会長） 全国医師国保組合連合会代表者会・全体協議会（小牧副理事長他） 自民党県連総務・支部長合同会議（会長）	30	労災診療指導委員会・労災部会理事会（赤須常任理事他） 日医医療秘書認定試験委員会（池井常任理事） 県HPVワクチン接種情報共有会・麻しん風しん対策推進会議・予防接種広域化検討会議（高木常任理事） 県整形外科医会保険審査委員打合せ会議 スポーツメディカルセンターに関する打合せ（会長他）
13	日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会	31	医療保険請求事務実技試験 都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会（Web会議）（小牧副会長他） 県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医療事故調査支援委員会合同会議（会長他）
15	日医連拡大選挙対策会議（会長） 県・市町村との妊婦健診等に関する協議会（Web会議）（嶋本常任理事他） 県医師連盟常任執行委員会（Web会議）（河野理事長他） 第13回全理事協議会（Web会議）（会長他）		
16	日本認知症グループホーム全国大会（吉見常任理事） 支基金審査運営協議会（会長） 広報委員会（荒木常任理事他）		
17	日本認知症グループホーム全国大会（吉見常任理事） 社会保険医療担当者の個別指導（池井常任理事） 日医広報委員会（荒木常任理事）		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和6年10月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 6人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	1	2
外 科	1	1	0
産 婦 人 科	1	0	1
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 100人

	合 計
令和6年度(4/1～10/1)	3
平成16年度から累計	100

3. 求人登録 103件 289人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	91	68	23	消 化 器 外 科	4	3	1
外 科	22	19	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整 形 外 科	19	16	3	健 診	3	3	0
精 神 科	12	10	2	泌 尿 器 科	2	2	0
脳 神 経 外 科	2	2	0	産 婦 人 科	0	0	0
循 環 器 科	14	11	3	検 診	0	0	0
消 化 器 内 科	24	18	6	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	6	6	0	婦 人 科	1	1	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	0	0	0
放 射 線 科	9	9	0	人 工 透 析	12	8	4
小 児 科	3	2	1	リ ウ マ チ 科	0	0	0
呼 吸 器 科	0	0	0	臨 床 病 理 科	0	0	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	1	1	0
総 合 診 療 科 ・ 内 科	11	7	4	診 療 科 目 不 問	7	3	4
脳 神 経 内 科	2	2	0	緩 和 ケ ア	0	0	0
呼 吸 器 内 科	11	7	4	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	6	4	2
リハビリテーション科	5	3	2	そ の 他	2	2	0
救 命 救 急 科	7	4	3	合 計	289	221	68

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形外,麻	3	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ	2	非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	医)青葉会 のざきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	一社) 都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエーツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 なんごう病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和6年10月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡（612.77坪）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡（691.16坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡（424.38坪） ※別途駐車場あり（20台）	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡（1,348.18坪） 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡（250.20坪） ※駐車場あり（70台）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡（501.38坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡（251.33坪） ※駐車場あり（50台）	所有者：（医）社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 都城市東町10街区18号 土地：614.18㎡（186.11坪） 建物：鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡（293.49坪） ※駐車場あり（3台） 別に隣接病院駐車場あり（応相談） ※賃貸部分は，2階，3階（グループホームやすらぎ）	所有者：都城市北諸県郡医師会員 （医）与州会 柳田病院
	③ 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地：750.44㎡（227.40坪） 建物：木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡（99.62坪） ※駐車場あり（15台）	所有者：宮崎市郡医師会員 （医）健心会 滝口内科医院 （旧）のぞみ医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地（宮崎県医師協同組合）

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年10月28日

11				月				
1	金	18：00	県認知症疾患医療センター指定医療機関選考委員会	16	土	10：00	(熊本) 九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会	↑
2	土	14：00	県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会			12：50	(熊本) 九州医師会総会・医学会	
		16：30	(大阪) 全国医師協同組合連合会通常総会			16：00	県整形外科医会研修会	
3	日		(文化の日)	17	日		(熊本) 九医学分科会・記念行事	国保審査
		8：30	県医親善ゴルフ大会			18：00	医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議)	
4	月	11：00	世界糖尿病デーin宮崎2024県民公開講座	18	月	19：00	介護保険委員会	↑
			(振替休日)			19：00	医協会計監査	
5	火	9：00	県総合防災訓練	19	火	14：20	(日医) 都道府県医師会会長会議	↓
6	水	19：00	第8回常任理事協議会 (Web会議)			16：30	(日医) 日医連執行委員会	
7	木			20	水	19：00	広報委員会	↑
						19：00	医協会計監査	
8	金	13：00	全国学校保健・安全研究大会	21	木	10：00	(えびの市) ロコモ予防運動推進事業普及講座	社保審査
		14：00	宮大医学部医の倫理委員会			19：00	勤務医委員会 (Web会議)	
		15：00	(日医) 日医医療秘書認定試験委員会					
9	土	17：00	全国学校薬剤師大会	22	金	14：15	(えびの市) ロコモ予防運動推進事業普及講座	↓
10	日	13：00	全国学校保健会中央大会	23	土		(勤労感謝の日)	↓
		17：00	九医連学校医会評議員会・総会					
		18：00	全国学校保健・学校医大会会長招宴					
11	月			24	日			↓
12	火			25	月	19：00	医学賞選考委員会	↓
13	水			26	火	13：30	宮大経営協議会	↑
						14：30	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会	
						14：40	宮大学長選考・監察会議	
14	木	9：30	(長崎) 九州各県内科医会連絡協議会九州学校検診協議会専門委員会	27	水	18：00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	↑
		11：30	九州学校検診協議会役員会			18：00	医協理事会	
						18：30	医協理事・運営委員合同協議会	
15	金	16：00	県訪問看護ステーション連絡協議会役員会	28	木	終了後	第16回全理事協議会	↓
						19：00	各郡市医師会長協議会	
16	土	18：30	第15回全理事協議会	29	金	17：00	地域医療における働きやすい環境を考える会学生向けセミナー	↑
		19：00	県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会					
17	日	16：00	支払基金審査運営協議会	30	土	14：30	産業医研修会 (実地)	↓
		19：00	広報委員会			16：00	(福岡) 九医国保連将来問題検討委員会	
18	月	15：30	日医有床診療所委員会 (Web会議)	1	日	16：00	病院部会・医療法人部会合同理事会・研修会	↑
		19：00	県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)					
19	火	16：00	(熊本) 九医連常任委員会	2	月			↓
		17：00	(熊本) 九医連臨時委員総会					
		19：00	県外科医会秋期講演会 (Web会議)					

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年10月28日

12			月		
1	日	9:00 かかりつけ医等発達障害対応力 向上研修会 (Web会議) 10:00 (東京) 全国有床診療所協議会理 事会・臨時社員総会	15	日	8:30 指導医のための教育ワークショップ 9:00 人体シミュレータを用いた在宅 医療研修会
2	月		16	月	19:00 広報委員会 19:00 自殺対策うつ病研修会 (Web会議)
3	火	19:00 第9回常任理事協議会	17	火	18:30 第17回全理事協議会 19:00 役職員懇談会
4	水	15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 18:00 医師クラーク・スキルアップ研 修会 (Web会議)	18	水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 三師会会長会
5	木	13:30 都道府県医師会医事紛争担当理 事連絡協議会 (Web会議) 14:00 宮大医学部医の倫理委員会	19	木	13:30 県保険者協議会 15:30 (日医) 日医医業経営検討 委員会
6	金	15:00 (日医) 日医未来医師会ビジョン委員会 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (TV会議)	20	金	
7	土	13:00 (日医) 日医家族計画・母体保護 法指導者講習会 14:30 産業医研修会 (TV会議)	21	土	
8	日		22	日	
9	月	17:00 県地域医療対策協議会プログラ ム運用部会 18:00 県地域医療対策協議会	23	月	
10	火		24	火	14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩 マッサージ療養費審査委員会 19:00 第18回全理事協議会 (Web会議)
11	水		25	水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
12	木	19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)	26	木	13:00 (日医) 日医救急災害医療対策委員会 14:00 日医予防接種・感染症危機管理対 策委員会
13	金	15:30 都道府県医師会公益法人制度改革 担当理事連絡協議会 (Web会議) 18:00 指導医のための教育ワークショ ップ打合せ会 19:00 県産婦人科医会HTLV-1母子感染 対策事業研修会 (Web会議)	27	金	
14	土	9:00 指導医のための教育ワークショップ 13:35 指導医のための教育ワークショ ップ記念撮影 15:00 県産婦人科医会ひむか性教育シ ンポジウム (Web会議)	28	土	
			29	日	(年末休業)
			30	月	(年末休業)
			31	火	(年末休業)

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
令和6年度宮崎県 プライマリ・ケア 研究会研修会 (Web講演会) 11月2日(土) 14:30～16:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	意外と多い社交不安症：疾患の理解と対応 宮崎大学医学部 看護学科 教授 吉永 尚紀	69 (1.5)	◇主催 宮崎県プライマリ・ケア研究会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第189回宮崎心臓 病研究会 (Web講習会) 11月5日(火) 19:00～20:00 ホテルJALシティ 宮崎 ※受講は現地また はWeb	動脈硬化性疾患における中性脂肪コントロールと心臓 リハビリテーション 久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門 主任教授 福本 義広 他	75 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第9回地域におけるウイルス性肝炎治療を考える会 (Web講習会) 11月7日(木) 19:00～20:00 MRT micc ※受講は現地またはWeb	肝癌撲滅を目指して ～熊本肝炎・脂肪肝プロジェクトの成果～ 熊本大学生命科学研究部 消化器内科学講座 教授 田中 靖人	73 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ギリアド・サイエンス(株) ☎090-2932-2794
令和6年度第2回都城市CKD予防連携医研修会 (Web講習会) 11月7日(木) 19:15～20:30 未来創造ステーション2階セミナー室2 ※受講は現地またはWeb	糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実践 高木病院 糖尿病内分泌肝疾患センター長 国際医療福祉大学医学部 教授 佐賀大学 名誉教授 安西 慶三	12 (1.0)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 田辺三菱製薬(株) ◇後援 都城市
南那珂外科系医会 医学会 (Web講習会) 11月8日(金) 19:00～20:00 南那珂医師会館2階大ホール ※受講は現地またはWeb	当院の外科学講座の現況と今後の取り組みについて ～心臓外科(バイパス手術・弁膜症手術・大動脈外科手術を中心に)～ 宮崎大学医学部 外科学講座 心臓血管外科学分野 教授 古川 貢之	10 (1.5)	◇主催 南那珂外科系医会 ◇共催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 第一三共(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 11月8日(金) 19:00～20:00 延岡市コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	循環器医から見た新たな糖尿病治療戦略 ～経口GLP-1-RAの立ち位置～ 熊本大学生命科学研究部 循環器内科学 教授 辻田 賢一	76 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 MSD(株) ノボノルディスクファーマ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
「皮膚の日」講演会 (Web講習会) 11月10日(日) 14:00～15:30 宮日会館11階ホール ※受講は現地またはWeb	タンパク質欲 ～私達が食べるほかのすべての栄養素に影響を及ぼす タンパク質の力～ 青木皮膚科 出盛 允啓	11 (1.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会・日本臨床皮膚科医会宮崎県支部 ◇共催 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 NHK 日本医師会 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011
県北産婦人科医会 (11月度例会) 11月11日(月) 18:50～20:00 延岡市医師会病院 5階研修室	子宮体癌の術後サーベイランスおよび再発時の新たな 薬物療法について 大分大学医学部 産科婦人科学講座 教授 小林 栄仁	10 (1.0)	◇主催 県北産婦人科医会 ◇共催 ※エーザイ(株) ☎080-5987-5929

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度臨床倫理・研究倫理講習会 11月12日(火) 17:00～18:30 宮崎大学医学部附属病院臨床講義室205	臨床研究法と倫理指針について 東京医科歯科大学 生命倫理・臨床研究戦略推進室長 厚生労働省 医政局研究開発政策課 臨床研究等技術参与 八百野 恭子 専門医共通講習－医療倫理（必修）：1単位	3 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-1864
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 (Web講習会) 11月12日(火) 19:00～20:00 都城グリーンホテル1階「桐の間」 ※受講は現地またはWeb	次世代の2型糖尿病治療戦略 三浦中央医院 院長 瀧端 正博 ----- 新たなGIP作用への期待 福井大学学術研究院医学系部門 内分泌・代謝内科学分野 教授 原田 範雄	73 (0.5) 76 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡内科医会 ◇共催 田辺三菱製薬(株) 日本イーライリリー(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
第23回在宅医療実践のための多職種協働研修会 (Web講習会) 11月14日(木) 19:00～20:30 宮崎市郡医師会病院医師会館講堂 ※受講は現地またはWeb	NPPVを装着することになった頸髄損傷療養者の生活支援～多職種・他事業所で支える1人暮らし～ 訪問看護ステーション 一ツ葉 看護師 黒木 美由希 他	80 (1.5)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センター ☎0985-77-9106

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度西諸地域糖尿病重症化予防対策研修会 (Web講習会) 11月14日(木) 19:00～20:30 西諸医師会館 ※受講は現地またはWeb	CKD重症化予防対策と病診連携について 宮崎大学医学部附属病院 血液浄化療法部 准教授 菊池 正雄	76 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 宮崎県小林保健所
延岡医学会学術講演会 宮崎県北地区整形外科医会 (Web講習会) 11月15日(金) 19:00～20:00 キャトルセゾン・マツイ ※受講は現地またはWeb	今、目指すべき大腿骨近位部骨折加療のSDGs 米盛病院 骨粗鬆症 センター長 長谷 亨	77 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎県北地区整形外科医会 アステラス製薬(株) アムジェン(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
令和6年度宮崎県外科医会秋期講演会(日本臨床外科学会地方会) (Web講習会) 11月15日(金) 19:00～20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	甲状腺診療における最新トピックス 鹿児島大学医歯学総合研究科 先進治療科学専攻 外科学講座 乳腺甲状腺外科学 教授 中条 哲浩	0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県外科医会 ☎0985-23-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度宮崎県整形外科医会研修会 11月16日(土) 16:00～18:15 宮崎県医師会館	令和6年度全国整形外科保険審査委員会議報告について 県社会保険診療報酬支払基金審査委員 福嶋 秀一郎 他	9 (1.0)	◇主催 ※宮崎県整形外科医会 ☎0985-23-9100 ◇共催 旭化成ファーマ(株)
	骨粗鬆症性椎体骨折の診断と治療 宮崎大学医学部 整形外科 教授 亀井 直輔	77 (1.0)	
宮崎県産婦人科医会学術講演会 (Web講習会) 11月20日(水) 19:00～20:00 ニューウェルシティ宮崎 ※受講は現地またはWeb	子宮頸がん患者を減らすために ～HPV型別判定の利活用～ 鹿児島大学医学部 産科婦人科学教室 教授 小林 裕明 他	11 (1.0)	◇主催 宮崎県産婦人科医会 ◇共催 日本ベクトンディッキンソン(株) (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業医研修会 11月20日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 11月22日(金) 19:00～20:00 キャトルセゾン・マツイ ※受講は現地またはWeb	新たなる腎保護戦略～腎生100年時代をむかえて～ 公立学校共済組合 九州中央病院 腎臓内科 部長 満生 浩司	73 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 小野薬品工業(株) アストラゼネカ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第3回宮崎骨粗鬆症研究会 (Web講習会) 11月25日(月) 19:00～20:30 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	骨粗鬆症患者へのチームとしての取り組み(仮) 小牧病院 理学療法士 前原 孝政	10 (0.5)	◇主催 宮崎骨粗鬆症研究会 ◇共催 ※東和薬品(株) ☎080-1522-3887 ◇後援 宮崎県医師会
	骨粗鬆症の診断と治療(仮) 長崎大学 医歯薬学総合研究科 整形外科 助教 千葉 恒	77 (1.0)	
令和6年度医師等医療従事者結核研修会 (Web講習会) 11月26日(火) 18:00～19:30 高千穂保健所講堂 2階 ※受講は現地またはWeb	結核診断と治療の最新情報 ～肺非結核性抗酸菌症の現状も含めて～(仮) 熊本南病院 呼吸器科 部長 山中 徹	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県高千穂保健所健康づくり課 ☎0982-72-2168

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月26日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月27日(水) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	高ストレス者に対する面接指導のポイントや対応について 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和6年度自殺対 策研修会 11月28日(木) 18:30～20:00 宮崎県小林保健所 2階多目的ホール	こども・若者の自殺予防 ～「死にたい」と打ち明けられたら～ みよしクリニック 院長 三好 良英	68 (1.5)	◇主催 ※宮崎県小林保健所 ☎0984-23-3118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度第1回 宮崎県かかりつけ 医等発達障害対応 力向上研修会 (Web講習会) 12月1日(日) 9:00～12:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	今、発達障害の理解に必要な知識 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員 森 こそえ	72 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	5歳児健診開始に向けて 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員 森 こそえ	11 (1.0)	
	心理士の視点でみた子どもの特性・保護者への関わり 宮崎市総合発達支援センター 公認心理師 伊東 美和	10 (1.0)	
感染症セミナー in 宮崎～インフルエンザ・COVID-19 診療up to date～ (Web講習会) 12月5日(木) 19:00～20:00 アートホテル宮崎 スカイタワー3階 「浜木綿」 ※受講は現地またはWeb	呼吸器ウイルス感染症の流行機序“DOTS”を知り、感 染防止・制御に繋げる 佐賀大学医学部 国際医療学講座 臨床感染症学分野 教授 佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 部長 青木 洋介	8 (1.0)	◇主催 宮崎県小児科医会 ◇共催 ※塩野義製薬(株) ☎0985-27-1041

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第89回宮崎整形外科懇話会 12月7日(土) 17:30～18:30 宮崎大学医学部臨床研究棟205教室 参加費:1,000円	これだけは知っておきたい小児運動器疾患 ～将来の関節症予防を踏まえて～ 南大阪小児リハビリテーション病院 整形外科 薩摩 真一	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
第190回宮崎心脏病研究会 (Web講習会) 12月9日(月) 19:00～20:15 宮崎観光ホテル東館2階「初雁の間」 ※受講はWebのみ	超高齢化時代の循環器診療とは？ 鹿児島大学 医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学 教授 大石 充 他	9 (1.0)	◇主催 宮崎心脏病研究会 ◇共催 日本メドトロニック(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年第5回宮 崎県緩和ケア研修 会 集合研修 12月14日(土) 8:30～17:00 県立日南病院2階 講堂	e-learningの復習・質問 県立日南病院 副院長 市成 秀樹	15 (0.5)	◇主催 ※県立日南病院 ☎0987-58-2152
	コミュニケーション(ロールプレイングによる演習) アイス・ブレーキング 県立宮崎病院 精神科部長 並木 薫 他	4 (2.0)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア(グループ演習) 宮崎大学医学部附属病院 麻酔科 助教 山賀 昌治	10 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携(グループ演習) 県立日南病院 患者支援センター長 木佐貫 篤 他	12 (1.5)	
令和6年度医療機 関・介護施設等従 事者結核研修会 (Web講習会) 12月17日(火) 19:00～20:30 日南保健所多目的室 ※受講は現地また はWeb	感染症のリスク管理 感染症と人間の関わり ～結核・非結核性抗酸菌症の普遍性, 特殊性～ 宮崎東病院 院長 伊井 敏彦	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県日南保健所 ☎0987-23-3141

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 12月17日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	健康経営を導くワークライフバランス 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第208回宮崎県眼 科医会講習会 12月21日(土) 16:00～18:35 KITENビル大会 議室 参加費：3,000円	人生100年時代を見据えた緑内障早期治療介入を考える 東邦大学医療センター大橋病院 眼科 臨床教授 石田 恭子	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
	幹細胞による角膜の再生医療 大阪大学医学系研究科 脳神経感覚器外科(眼科学) 教授 西田 幸二	36 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 1月18日(土) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	石綿(アスベスト)関連疾患診断技術研修会(専門研修) 「石綿関連疾患胸部画像診断の読影実習」 川崎医科大学 総合放射線医学 教授 加藤 勝也 他 生涯研修の現地研修会：2単位	45 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和6年度宮崎県 産婦人科医会・産 科婦人科学会冬期 定時総会 (Web講習会) 1月25日(土) 15:00～17:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	子宮頸がん検診の今後～HPV検査をどう使うか～ 佐賀大学医学部 産科婦人科学 教授 横山 正俊	0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県産婦人科医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県産科婦人科学会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
【9/28延期分】 延岡医学会学術講演会 ～第59回宮崎県北 地区整形外科医学会学術講演会～ 1月25日(土) 16:00～18:00 キャトルセゾン・マツイ	変形性股関節症に対する保存療法から外科的治療まで 宮崎大学医学部附属病院 整形外科 助教 中村 嘉宏	61 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎県北地区整形外科医会 持田製薬(株) 持田製薬販売(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	複雑化する重症骨粗鬆症治療をシンプルに考える ～各骨形成促進剤の特徴と逐次療法の基本～ 熊本機能病院 整形外科 部長 清田 克彦	77 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 1月30日(木) 13:30～15:30 延岡市職業訓練支援センター	令和6年、この一年間の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 1月31日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	事業場におけるストレスと精神障害(2) 産業保健相談員 ウエダメンタルクリニック 院長 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

診療メモ



子ども虐待について

うち むら え み
県立宮崎病院 小児科 内 村 絵 美

はじめに

子ども虐待とは、「保護者やそれに代わる者（強者）による子ども（弱者）への重大な権利侵害」です。

以前の子ども虐待というと、子どもへの残虐な行為のことでしたが、現在では「Maltreatment（不適切な養育）」という意味が含まれており、直接的な暴力だけでなく、子どもに必要な養育やケアを行わない、必要な受診をさせないことも虐待です。

虐待の分類

日本では2000年に児童虐待防止法が制定され、子ども虐待は下記の4つに分類されています。

① 身体的虐待：

打撲傷、あざ、骨折、出血、熱傷などの外傷や身体的損傷を生じさせる行為

② 心理的虐待：

暴言、著しく拒絶的な対応、DVの目撃など心理的外傷を与えること

③ ネグレクト：

食事を与えない、家に閉じ込める、病気になっても病院に連れて行かない、ひどく不潔にするなど

④ 性的虐待：

子どもへの性的行為や性的行為を見せる、ポルノグラフィティの被写体にするなど、男児の被害も少なくない

虐待件数の推移

報道などで耳にしておろご存じのことと思いますが、全国の児童虐待対応件数は年々増加の一途を辿っており、2022年には22万件近くで過去最高を更新しています。

宮崎県でも2019年以降対応件数は年間1,800件を超え、つい先日2023年度の宮崎県児童虐待対応件数が発表され1,791件で昨年度から228件（11.3%）減少していましたが、依然高止まりの状況が続いています（図1）。

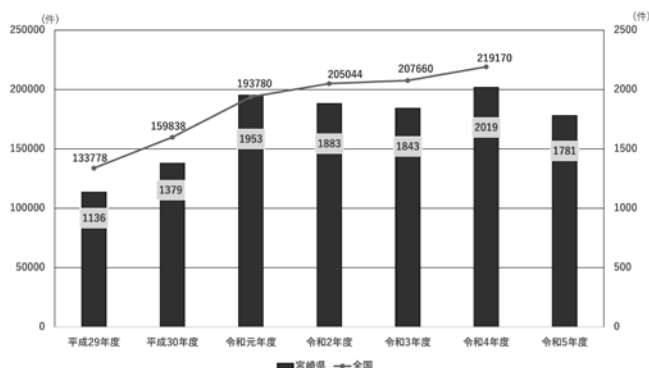


図1 児童虐待対応件数（全国・宮崎県）

虐待通告の経路

児童相談所における虐待の経路別相談件数において、相談元として最も多いのは警察（52.1%）、その他近隣住民（10.5%）、学校（7.7%）などと続きます。医療機関からの相談件数は1.2%とごく少数です。これは全国の報告でも宮崎県の報告でも同様で、医療機関からの虐待相談件数は1%台で非常に少数でした。おそらく病院受診をしても虐待に気づかれていないケースがたくさんあるのだと思います。

児童福祉法や児童虐待防止法では、「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者」の通告の義務を規定しており、また児童虐待を発見しやすい立場にある医師や歯科医師、看護師には児童虐待の早期発見努力義務が課せられています。

虐待件数が増加しているということは、虐待を受け苦しんでいる子どもに出会う可能性が増加しているということであり、小児科に限らず子どもを診療する機会のある先生方には虐待の可能性について頭の片隅に置きながら子どもと向き合っていただけると幸いです。

外傷や熱傷の子どもが受診したら

外傷や熱傷の子どもが受診した場合、まずどのように受傷したのか（受傷機転）を考慮してください。自分で移動ができない9か月未満の乳児のケガや骨折、どの年齢でも耳や背部のケガは虐待による外傷の可能性が高い部位になります。また平手打ちの痕や何かしらの物体の形を示すあざは虐待を強く疑う必要があります。ケガの部位が一か所ではなくあちこちにある場合も注意が必要です。

熱傷の場合、熱傷部位と非熱傷部位の境界がくっきりしており熱傷の深さが均一（手足の場合、手袋・靴下のように境界が明瞭）なのは熱傷を負った際、子どもが固定されており自分で逃げられる状況ではなかったことを示し、虐待が強く疑われます。また最も多いたばこ熱傷では、虐待によるものではくっきりきれいな円形をしていることが多い（体を固定された状態でたばこを押しつけられている）と言われています（図2）。

気になるケガを見つけた場合は、できれば親とは別の場所で（身体測定や写真での記録・検査をします、その間に親は別のスタッフから話

を聞きますなどと言って）子どもに話を聞いてください。3歳前後であれば「誰が」「何をした」という最低限のことは話せます。小さい子どもは、話に誘導されて間違った記憶が刷り込まれやすいので、「誰かにたたかれたの?」というようなクローズドクエスションではなく、「このケガはどうしたの?」などのように本人にしゃべらせるオープンクエスションで質問をしてください。

本人が虐待の開示をした場合、本人や親の話す受傷機転がケガの状態と矛盾している、本人と親の話が食い違っているなどの場合は、虐待を疑って児童相談所や市区町村に通告が必要です。虐待が確定していなくても疑いの段階で通告することが重要です。

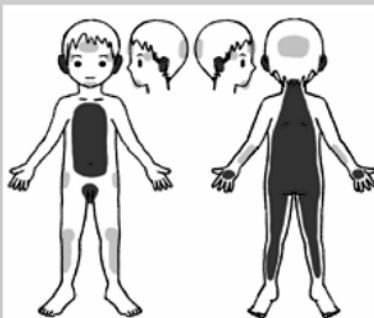
今後に向けて

現在、宮崎県は県央、県南、県北に児童相談所を設置していますが、宮崎市では今後5年後程度を目処に宮崎市児童相談所の設立が予定されています。同じ建物内に市の虐待対応部署や保健センター、子育て支援センター、ファミリーサポートなども併設予定とのことで、起きてしまった虐待に対応するだけでなく、虐待予防のために妊娠期から切れ目なく子どもやその家庭をサポートできる体制が整うことが期待されます。

宮崎県では他県と比較すると虐待に対する取り組みが遅れているため、宮崎市だけではなく県全体で子ども虐待の対応や予防についての取り組みが進んでいくことを期待しています。

項 目		虐待の可能性が高い	
皮膚損傷	挫 傷	多発性 新旧混在 不自然な分布 感染合併	手形・物の形
	熱 傷		辺縁明瞭で深い
頭部損傷	頭蓋内出血	硬膜下血腫、新旧血腫の併存	
	頭蓋骨骨折	多発性、両側性、骨折線離開 頭頂部陥没	
骨 折	部 位	骨幹端骨折、肋骨・棘突起骨折 胸骨骨折、肩甲骨骨折	
	形 態	らせん状骨折、鉛管骨折	
	年 齢	2歳未満	
その他		CPA-OA 治療奏功しない慢性頭痛・腹痛等	

挫傷・熱傷の存在部位



■ 虐待の可能性が高い □ 虐待の可能性は低い
* 被服部位、手背、足底、大腿内側に存在した場合も虐待を考慮

奥山眞紀子 他、一般医療機関における子ども虐待初期対応ガイド。

厚生労働科学研究虐待対応連携における医療機関の役割（予防、医学的アセスメントなど）に関する研究。

図2 虐待の可能性が高い外傷・熱傷の特徴

宮大医学部学生のページ

宮崎大学学園祭 第20回^{きよ か}清花祭清花祭清武キャンパス実行委員長 ^こ小 ^{ざこ}迫 ^{ゆう}勇 ^た太

日時：令和6年11月16日(土)，17日(日)

会場：宮崎大学木花キャンパス

宮崎大学清武キャンパス

今年は上記のとおり学園祭の開催が決定しましたのでお知らせします。新型コロナウイルス感染症が社会現象となってから5年の月日が経ち、従来の暮らしが取り戻されてきたように思われます。また、今年度は宮崎医科大学開講から50周年ということで、地域の方々も交えた企画を通してコロナ禍克服を実感していただき、地域に再び活気を取り戻せるような学園祭にしたいと考えております。

清武キャンパスにおける「清花祭」の前身である宮崎医科大学時代の「すずかけ祭」の伝統を受け継ぎつつ、独自の企画など創意工夫を凝らした学園祭を用意してまいります。ぜひ会場まで足を運んでいただけますと幸いです。清武キャンパスの学園祭では、日頃私たちが学んでいる医学や看護学の知識を地域の方々と共有させていただく企画「医学展」というものがあります。以下ではその一部をご紹介します。
※新型コロナウイルス感染症の感染状況により内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。

清武キャンパス医学展

〈気持ち企画〉

患者さんや医療従事者の気持ちを本という1つの形にして配布します。患者さんや医療従事者の気持ちにスポットライトを当てることで、

お互いの「伝えなかったのは伝えられなかった思い」に近づく機会となれば幸いです。

〈なってみよう企画〉

主に児童、学生を対象とした医師体験や看護師体験、その他の医療にまつわるさまざまな体験を楽しむことができます。折り紙やバルーンなど、小さなお子様も楽しめる雰囲気のでき、ぜひお立ち寄りください。

〈解剖・病理企画〉

この企画は、身体の構造や身近な病気について理解を深め、ご自身の健康について考えていただくことを目的としています。実物の病理標本や模型に加え、子どもたちにも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。医学や人体の面白さに触れていただければ幸いです。

〈進路相談カフェ〉

医学・看護学を志す県内の中高生に向けて、現在の医学部生による進路相談や進学モチベーションアップにつながる企画を用意しております。ぜひ、興味のあるお知り合いの方などにご紹介ください。

〈年齢企画〉

脳、肌、血管、体力といった体の状態を「年齢」という数字を通して測定する企画です。ぜひご来場いただき、ご自身の健康に関心を持っていただければ幸いです。

清武キャンパスイベントスケジュール

イベント名	時 間	内 容
11月16日(土)		
軽音 (屋外イベントステージ)	10:00～11:00	軽音楽部によるバンドの演奏です。
ひばぺら (体育館ステージ)	11:00～11:30	美しいアカペラをお聴きください。
DOC. (ダンスサークル) (屋外イベントステージ)	12:00～12:30	医学部ダンスサークルによるパフォーマンスです。
管打楽器 (屋外イベントステージ)	13:00～13:30	管打楽器部による心に響く演奏です。
すずかけ太鼓 (体育館ステージ)	13:30～14:00	勇壮で力強く、心震える太鼓の演奏です。
ミスキャン (屋外イベントステージ)	14:30～15:30	清武キャンパスのNo.1の女性を決めるコンテストです。
KIZUNA企画	16:00～17:00	学生がチームとなってゲームに取り組み、絆を深める企画です。

11月17日(日)		
コンテスト (屋外イベントステージ)	9:30～11:00	清武キャンパスで最も強く勇ましい男の子を決めるコンテストです。
Landing (体育館ステージ)	11:00～11:30	美しいアカペラをお聴きください。
子ども企画 (体育館ステージ)	11:30～13:00	地域の子どもたちを招待してミニ運動会を行います。
クイズ企画 (屋外イベントステージ)	13:00～14:30	宮崎大学の誇る先生方がクイズ対決を行います。今年度は開講50周年を祝し、プレミアム仕様です。懐かしいあんなことやこんなことが出題されます。
ラブプロ企画 (屋外イベントステージ)	14:30～15:30	学生がゲームに取り組み、男女の愛を育む企画です。

* 雨天の場合、屋外ステージで行う予定のイベントは体育館ステージで行います。

* イベントステージ周辺では模擬店が開かれます。模擬店の営業時間は9:00～16:00になっております。ぜひお越しください。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
10月 1 日	・令和6年度病床機能報告及び外来機能報告の実施等について ・令和6年度「食育健康サミット」のご案内 ・令和6年度「治療と仕事の両立支援シンポジウム」について（周知依頼） ・2024年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内及び周知の協力依頼について ・日本医師会認定産業医制度実施に当たっての留意事項－その47－ ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・低気圧と前線による大雨に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・低気圧と前線による大雨に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・令和6年9月20日からの大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（延長）
10月 4 日	・「長期収載品の処方等又は調剤に係る選定療養の対象医薬品の追加について」及び「長期収載品の処方等又は調剤の取扱いについて（周知依頼）」について ・長期収載品の処方等又は調剤の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について（その3） ・疑義解釈資料の送付について（その12） ・長期収載品の処方等又は調剤について（労災診療） ・医療情報取得加算及び医療DX推進体制整備加算の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について（その2） ・電子情報処理組織等を用いた費用の請求等に関する取扱いについて ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて ・令和6年度宮崎県保健指導実施者経験者研修会の開催について（通知） ・「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について（通知） ・予防接種施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知） ・小児の肺炎球菌感染症及び新型コロナウイルス感染症の定期的予防接種に関する予防接種実施規則及び定期接種実施要領の一部改正について ・令和6年度九州・山口九県感染症関係機関連絡会議に係る研修会の開催について ・令和6年度在宅医療・介護連携推進支援事業「都道府県・市町村担当者等研修会議」の開催について（周知依頼） ・「医療デジタルデータのAI研究開発等への利活用に係るガイドライン」について

送付日	文 書 名
10月4日	・各がん検診実施機関等登録（指定）名簿について（送付） ・映画「はたらく細胞」試写会の応募対象者拡大に伴う再周知のご依頼 ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・低気圧と前線による大雨に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等について ・低気圧と前線による大雨に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その10）
10月8日	・「令和6年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和6年度調査）への協力依頼について」の送付について ・令和6年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その11） ・「協働化・大規模化等による介護経営の改善に関する政策パッケージ」に関する周知について ・令和5年度介護保険事務調査の集計結果について（情報提供） ・「令和5年度介護給付費等実態統計の概況」送付について ・令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和5年度調査）の結果について（最終版・情報提供） ・科学的介護情報システム（LIFE）の遡り入力期間について ・令和6年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について ・生産性向上推進体制加算を算定する事業所における生産性向上の取組に関する実績データの厚生労働省への報告について ・医療DX推進体制整備加算の届出について ・新型コロナウイルス感染症患者等の公費支援等の終了に伴う令和6年度における請求事務の取扱いについて（その2） ・令和6年度宮崎県麻しん・風しんワクチン接種促進のための普及啓発動画について（通知） ・医薬品副作用被害救済制度等の周知・広報について（協力依頼） ・「病原微生物検出情報」の送付について ・ルワンダ共和国におけるマールブルグ病に係る注意喚起について
10月11日	・医療用物資の配付について（周知依頼） ・個人防護具の配布の実施について ・顔認証付きカードリーダーの画面変更予定について（医療情報等の提供の包括同意・限度額情報の提供確認画面のスキップ）（周知）および訪問診療等におけるマイナ資格確認アプリの利用開始について（周知） ・セプター通信（CEPTOAR通信）の発出について（ランサム詐欺FAX） ・「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」の一部訂正について ・マイコプラズマ肺炎に関する注意喚起について ・デング熱の国内感染が疑われる症例の発生について（通知） ・「令和6年度中皮腫の診断精度向上のための講習会」のご案内 ・化学物質の皮膚障害防止に有効な保護具の選択等に関するリスクコミュニケーション（意見交換会）開催のご案内 ・医療事故情報収集等事業第78回報告書の公表について

送付日	文 書 名
10月11日	・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業第31回報告書」及び「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業2023年年報」の周知について ・「医療法施行規則第三十条の三十三の六第一項の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法及び医療法施行規則第三十条の三十三の八の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法の一部を改正する告示」の公布等について（通知） ・令和6年度学校保健関係の地方交付税措置の主な内容について ・科学的介護情報システム（LIFE）第1回説明会の動画及び説明資料の公開について ・令和6年能登半島地震により被災した組合員等に係る一部負担金等の徴収の猶予等に係る取扱期間延長について ・令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その11） ・令和6年能登半島地震による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて（その8）
10月15日	・医師会会員情報システムMAMIS説明会開催について ・国民生活センター「医師からの事故情報受付窓口」の周知について ・西都市こども医療費助成制度の改正について（通知） ・令和6年度における「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」の実施について（周知依頼） ・「交通事故で家族を亡くしたこどもの支援に関するシンポジウム」の開催について ・公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業第78回報告書の公表について
10月18日	・HPVワクチンに関する10月以降の接種スケジュールについて ・新型コロナウイルス感染症対応日本医師会休業補償制度の休止について ・乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチンの供給に係る対応等について ・医療的ケア児（者）に対する入院前等支援の評価の新設について ・介護分野の人員配置基準に関するローカルルールの把握のための事例・要望に係る専用受付フォームの周知について（情報提供） ・「おむつに係る費用の医療費控除の取扱いについて」の一部改正について ・「使用上の注意」の改訂について ・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等の一部改正等について ・「老人福祉法施行規則及び介護保険法施行規則の一部を改正する省令」の公布について ・レキサルティ錠1mg、同錠2mg、同OD錠0.5mg、同OD錠1mg及び同OD錠2mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について ・フリーランス・事業者間取引適正化等法の施行に向けた説明会等の開催について（周知協力依頼） ・日本学校保健会が主催する研修会（オンデマンド配信）の開催要項について（送付） ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業第31回報告書」及び「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業2023年年報」の周知について

送付日	文 書 名
10月22日	・令和6年度「母性健康管理等推進事業」(厚生労働省委託事業)における作成資料について(周知依頼) ・令和6年度最低賃金額の改定等に関する周知・広報の実施等について(協力依頼) ・研修会の周知について(ご依頼) ・フリーランス・事業者間取引適正化等法の遵守徹底について ・「アルコール関連問題啓発ポスター」の送付について
10月25日	・マイコプラズマ肺炎増加に関する学会からの提言について ・有料老人ホームの安定的かつ継続的な運営の確保の徹底について ・介護サービス事業所・障害福祉サービス事業所の送迎業務の効率化及び地域交通との連携について(情報提供) ・「「介護サービス情報の公表」制度の施行について」の一部改正について ・令和6年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」の実施について(協力依頼)
10月29日	・「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する補償金等の支給等に関する法律」の公布について(協力依頼) ・有床診療所等スプリングラー等施設整備事業(医療施設等施設整備費補助金)の募集(3回目)について ・検査料の点数の取扱いについて ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・「「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書」の公表・周知について ・「令和6年度九州・沖縄地区医療安全に関するワークショップ」の開催について ・指定訪問看護の提供に関する取扱方針について ・令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者が受けたはり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る医師の同意書等の取扱いについて(その3)

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



10月18日、19日の2日間、シーガイアコンベンションセンターで、宮崎大学大学院看護学研究科 教授 金子政時会長のもと、第65回日本母性衛生学会総会・学術集会が開催されました。テーマは「共創ー持続可能な母子の健康を目指してー」で、1,000名近い参加者の来場があったそうで、盛会のうちに終了しました。

私は2日間参加し、1日目は性教育のシンポジウムとポスター発表の座長を務めました。性と生殖に関する健康と権利に基づいた包括的性教育への関心が高まりつつあるとシンポジウムやポスター発表から感じる事ができました。これからも、ライフワークとして包括的性教育の普及に尽力していきたいと思います。

2日目はワークショップで助産師、後期研修医、初期研修医に対して吸引分娩の実技指導をしました。ALSOという産科救急のシミュレーション教育で培ったスキルを活かし、楽しく指導させていただきました。コロナ前までは宮崎県でALSOやBLSO（病院前産科救急）が毎年開催されていました。コロナで対面型の実技指導の開催が厳しくなり、インストラクターは本当に久しぶりでしたが、今回あらためてシミュレーション教育の面白さを実感することができました。

さて、今年も残すところ2か月となりました。年末にむけて飲み会も多くなると思いますので、体調に気をつけてお過ごしください。私は12月の青島太平洋マラソンに向けて引き続き脚力強化に励んでまいります。

（高村）

* * * * *

衆院選挙の結果、自民党は大敗と言える様子です。問題のある方が落ちてよし、しかし代わりに選ばれた方が有能なのかはまだ不明です。自公の連立は解消して、維新や国民と一緒になるのでしょうか。政策でまとまってほしいけれどもしばらくは昏迷の政局となるのでしょうか。日々黙々と仕事をしているエッセンシャルワーカーの邪魔にだけはならないように願います。

（菊池）

* * *

息子に買ってもらった折り畳み自転車に乗ろうとしたらタイヤの空気が抜けていました。空気を入れるところは見慣れない細いバルブであり、インターネットで調べて、初めて仏式バルブの事を知りました。作法もYouTubeで調べ、ホームセンターで仏式対応の空気入れを調達しました。競技用自転車が趣味であれば常識かもしれませんが、そうでない人は知らないと思います。ちょっとだけ世界が広がりました。何事も経験ですね。

（下窪）

* * *

学内最後の筆記試験が無事に終わり、秋休みを迎えました。ついこの間クリクラⅠが始まったばかりのような気がしてしまっていますが、あれからもう1年が経ったのだと実感しています。もうすぐ始まるクリクラⅡでは学外施設でもお世話になります。校正を介して関わらせていただいている先生方にもお会いするのかなと思うと楽しみです。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

（金城）

2024年10月13日、宮崎医科大学21期卒業生同窓会が開催されました。卒後24年目にして初めての学年同窓会でした。日本全国からなんと48人の参加があり、盛会となりました。女子は学生時代よりより美しくなっており大人の余裕を振りまいておりました。男子もダンディーで頼もしく育っておりました。過半数が50歳を過ぎており女子や男子というのも憚られますが、皆全国の第一線で活躍されておられます。皆の今後の活躍がたのしみです。

（國枝）

* * *

ようやく夏にかげりが見え、屋間の外出も気軽にできるようになりました。過ごしやすい時期というのも今は貴重ですから、勉強だけでなく運動にも精を出したいです。私事です但し実習前のpre-CC OSCE, CBTを無事通過したため、11月下旬から実習に臨むことになります。入学前は憧れだった病院実習も、いざ目の前に迫ると緊張と不安でいっぱいです。初心に戻り、気持ち新たに頑張ろうと思います。

（宮本）

* * *

外来診療も昼近くなると声がかすれ、しまいには声が出なくなります。がんによる反回神経麻痺ではないかと不安になり、耳鼻咽喉科の友人に相談したところ、「反回神経麻痺による声ではない。単なる加齢による声帯筋の衰え」とのこと。水分の補給と声帯筋トレーニングを勧められました。寒いときに拳に息を吹き込むようにトレーニングをしています。

（佐々木）

今月のトピックス

日州医談 新型コロナワクチン定期接種について

ワクチン全般に言えることですが間違った情報が蔓延し、国民は困惑しています。医師会としてはっきり記述していただき、参考になる方が多いかと思います。

4 ページ

身近なお困りごと相談室

その立場、状況になったとき、教えてもらいたい内容です。このような悩みは皆さん持っているかと思います。どんどん相談してください。その回答が誰かの役に立つ時が来ますので。

13ページ

診療メモ 子ども虐待について

虐待を受けた子どもが発信しているSOSを受信できるのは診療した我々医師です。怪しいと疑った際は児童相談所か市町村に通告するようにしましょう。

62ページ

宮大医学部学生のページ 宮崎大学学園祭 第20回清花祭

31年前、私はすずかけ祭実行委員長でした。当時の皆さんに助けていただきました。今でも設営の○先生、メロリンキューの○先生と紹介状などで名前を見るたびに思い出します。皆さん元気になっていますか。素晴らしい思い出をありがとうございました。

64ページ

(文責：石田 康行)

日 州 医 事 第903号 (令和6年11月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,

國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 金城 由歩, 境 笙太郎, 家村 和奈, 宮本貴由樹

担当副会長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)